

みやき町地域公共交通計画

【資料編】

令和 5 年 3 月

みやき町

目次

第1章	住民アンケート調査の結果.....	1
1-1.	調査の概要	1
1-2.	調査結果のまとめ	2
1-2-1	回答者属性.....	2
1-2-2	移動の現状について	3
1-2-3	公共交通に関する要望及び利用条件.....	11
1-2-4	要望等その他自由意見.....	14
第2章	高校生アンケート調査の結果	22
2-1.	調査の概要	22
2-2.	調査結果のまとめ	23
2-2-1	回答者属性.....	23
2-2-2	調査結果のまとめ.....	24
第3章	コミュニティバス乗込み調査の結果.....	36
3-1.	調査の概要	36
3-2.	調査結果のまとめ	37
第4章	事業者ヒアリング調査の結果	43
4-1.	調査の概要	43
4-2.	ヒアリング調査の内容.....	44
第5章	第2層協議体との意見交換会の結果.....	51
5-1.	意見交換会の概要	51
5-2.	意見交換の内容.....	52
第6章	協議会議事録.....	56
第7章	打合せ議事録.....	65

第 1 章 住民アンケート調査の結果

1-1. 調査の概要

(1) 調査の概要

市民の日常の移動の現状や公共交通利用の実態やニーズ等を把握するため、住民アンケート調査を以下の通り実施した。

表 1-1 住民アンケート調査の概要

調査実施期間	令和 4 年 9 月	<調査票> 
配布方法	19 歳以上のみやき町居住の方を対象に、地区別人口比に基づき無作為抽出、郵送配布、郵送回収・Web 回答	
配布数・回収数 (回収率)	1,500 票郵送配布、郵送回収 560 票 回収・Web 回収 127 票（総回収数 687 票・有効回収率 45.8%）	

(2) 各地区の回収状況

国勢調査の地区区分に基づきアンケート配布数を配分し、郵送、回収した結果、各地区とも 40%～48%の回収率となった。

表 1-2 地区別アンケート回答状況

地区名	人口総数 (人)	アンケート配布数 (票)	回収数 (票)	回収率
中原地区	8,101	476	220	46.2%
北茂安地区	10,798	635	305	48.0%
三根地区	6,612	389	156	40.1%
みやき町（計）	25,511	1,500	687※	45.8%

※注）地区別不明の 6 票含む

1-2. 調査結果のまとめ

1-2-1 回答者属性

回答者の居住地について、約 44%が「北茂安」地区、約 32%が「中原」地区、約 22%が「三根」地区に在住している。

また、性別について、56.6%が「女性」、32.0%が「男性」であった。

年齢層については、70歳代（「70～74歳」と「75～79歳」の合計値）が161と最も多く、次いで60歳代（「60～64歳」と「65～69歳」の合計値）が125と続く。

さらに回答者の家族構成について、二世帯（親と子）が45.9%と最も多く、次いで夫婦のみ（28.8%）となっている。

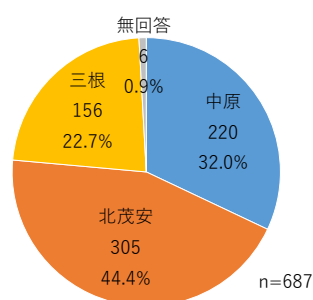


図 1-1 回答者の居住地

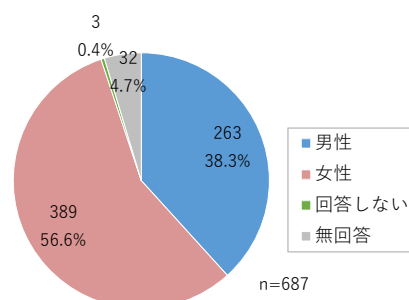
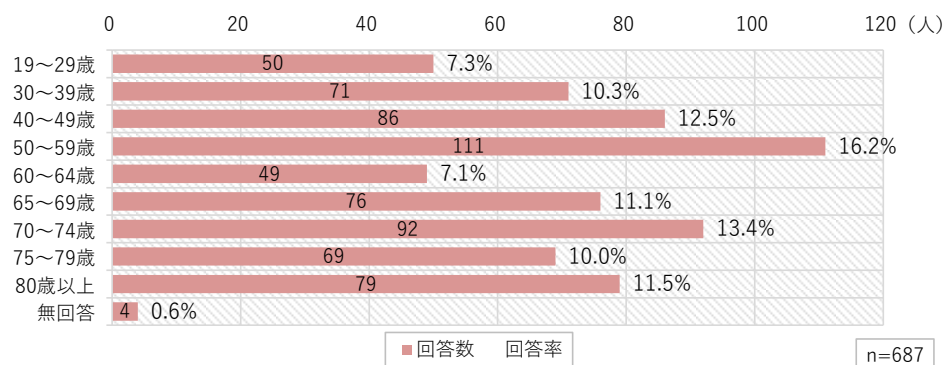


図 1-2 回答者の性別



注) 60歳未満は10歳毎、60歳以上は5歳毎に区分し、集計

図 1-3 回答者の年齢層の内訳

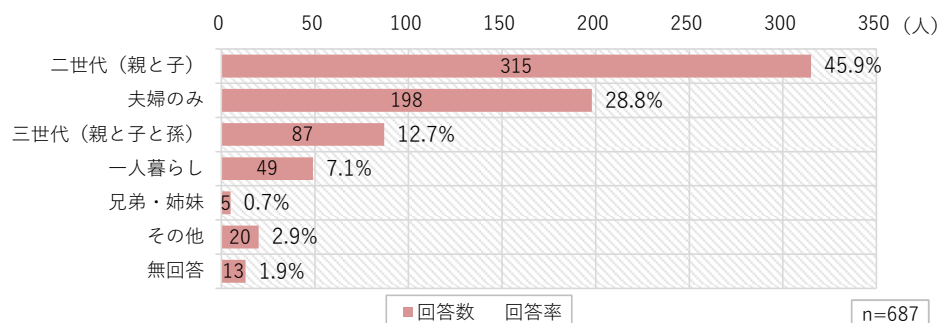


図 1-4 回答者の家族構成

1-2-2 移動の現状について

(1) 運転免許証について

① 免許証の有無

運転免許証の有無について、「持っている」が88.4%と非常に高い割合を示す。

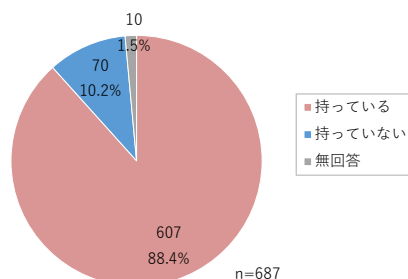


図 1-5 回答者の運転免許保有者数

② 免許証の種類

運転免許証を保有する回答者が保有する運転免許証の種類について、普通自動車免許が95.6%と高い結果となり、バイク（原付を含む）が16.5%となった。

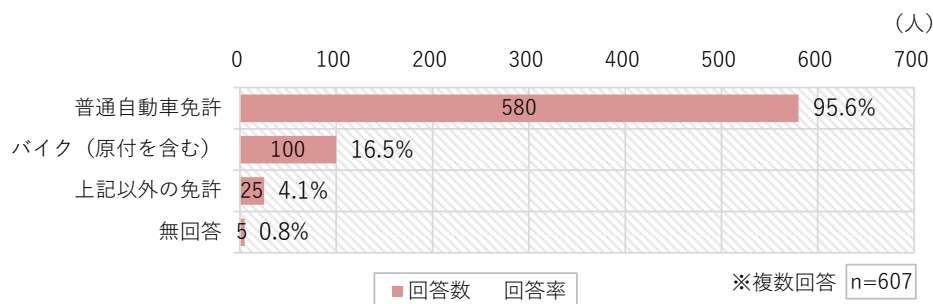


図 1-6 回答者の運転免許保有者数

③ 日常的な運転

日常的な運転する人の割合について、日常的に運転する人の割合が93.4%と非常に高い割合を示している。

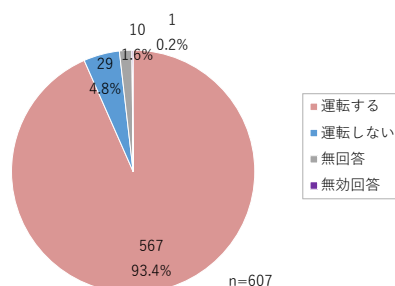
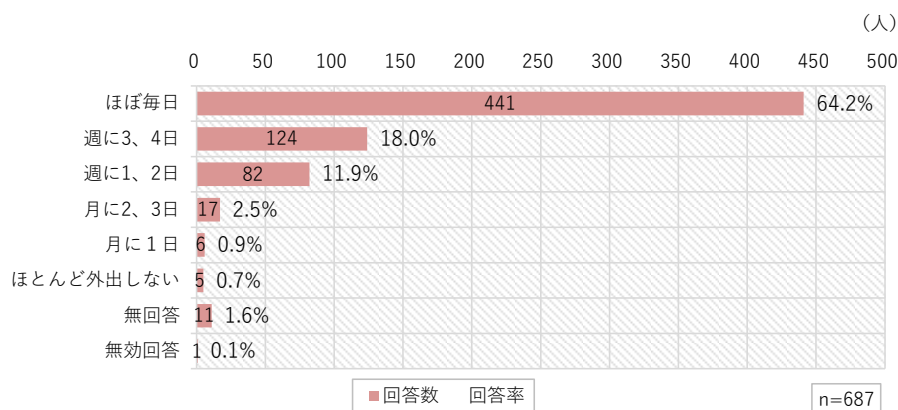


図 1-7 回答者の日常的な運転状況

(2) 外出行動について

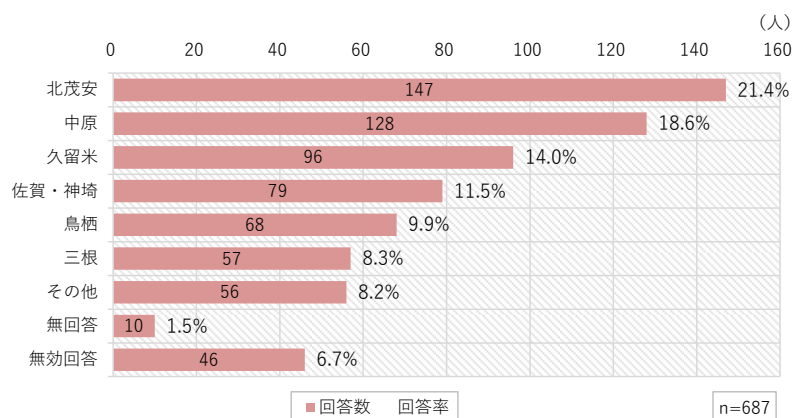
① 外出頻度

回答者の外出頻度について、「ほぼ毎日」外出する人は 64.2%と最も高く、次いで「週 3、4 日（18.0%）」、「週 1、2 日（11.9%）」が続く。



② 外出先

回答者の外出先について、「北茂安」に外出すると回答した人が 21.4%と最も高く、次いで「中原」（18.6%）と町内を挙げる人が多い一方、「久留米」（14.0%）、「佐賀・神埼」（11.5%）、「鳥栖」（9.9%）と隣接他市町を挙げる人も多い結果となった。



③ 公共交通機関別の利用頻度

外出時の公共交通機関別の利用頻度について、(公共交通を)ほとんど利用しない人が多い中、JR九州の利用頻度は高く、「ほぼ毎日」利用する人は1.4%、月に1回以上了する人は14.0%となった。一方、コミュニティバスを「ほぼ毎日」利用する人は0.6%、月に1回以上利用する人は4.2%となった。

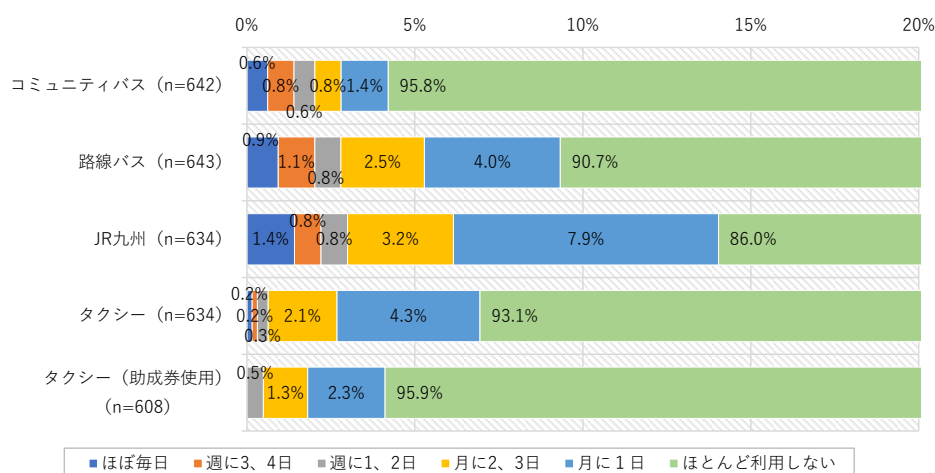


図 1-10 外出時の公共交通機関別利用頻度

④ 最も多い外出目的

A) 外出目的

最も多い外出目的として、「通勤」との回答が43.5%と最も多く、次いで「買い物(37.0%)」が非常に多いが、「通院」などその他の目的は5%以下の割合となった。

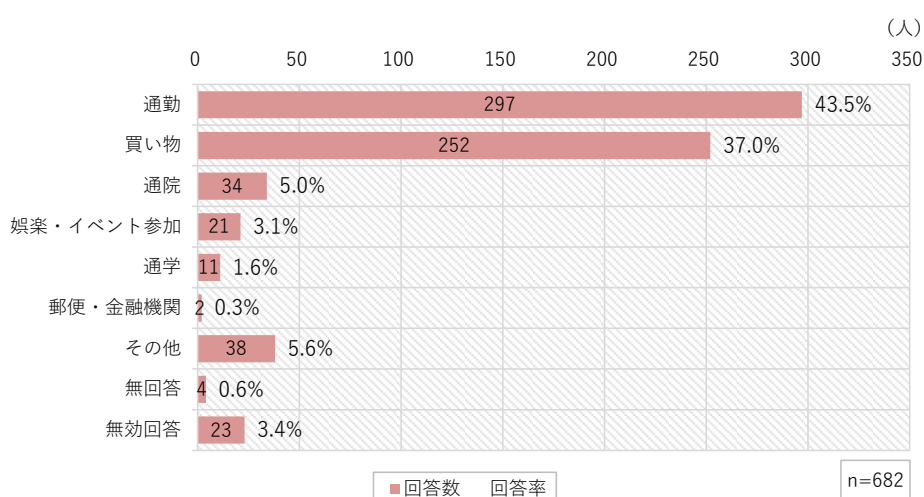


図 1-11 最も多い外出目的

B) 目的地

最も多い外出の目的地は「北茂安校区」が 22.9%と最も多く、次いで「中原校区 (20.2%)」、「久留米市 (12.2%)」と続く。

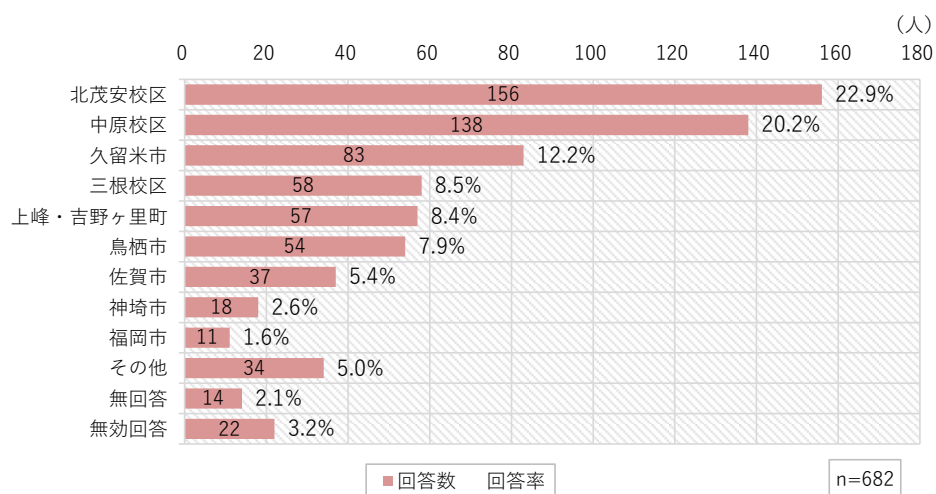


図 1-12 最も多い外出目的地

C) 最も多い外出目的地への外出頻度

最も多い外出の目的地への外出頻度は「ほぼ毎日」が 48.7%と最も多く、次いで「週 3、4 日 (25.5%)」、「週 1、2 日 (16.3%)」が続く。

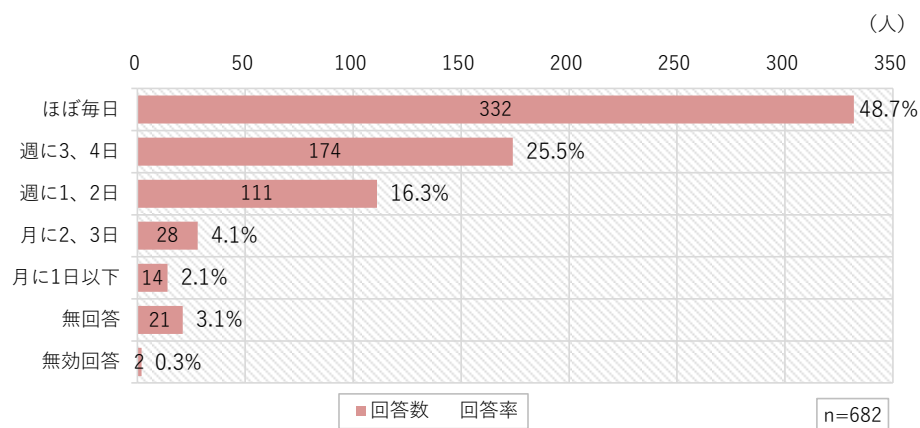


図 1-13 最も多い外出目的地への外出頻度

D) 外出・帰宅する時間帯

最も多い外出目的地への外出・帰宅時間帯について、外出時間帯は「8 時台」が 20.8%と最も多く、次いで「10 時台（18.2%）」となっている。一方、帰宅時間帯は「18 時台」が 15.5%と最も多く、次いで「19 時台（11.6%）」と続く。

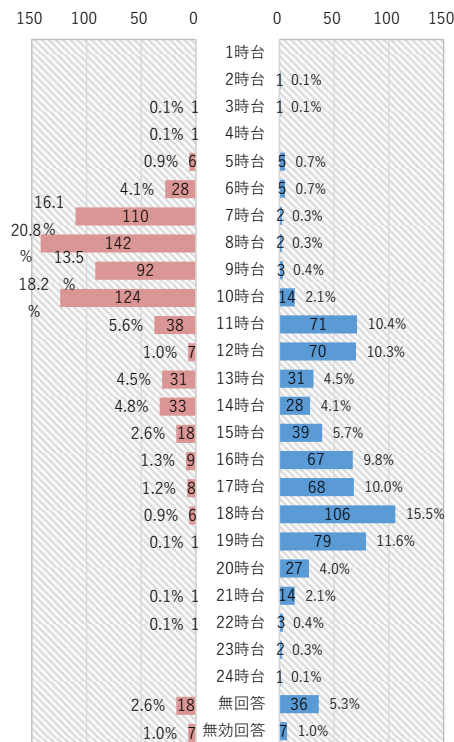


図 1-14 最も多い外出目的地への外出・帰宅時間帯

E) 移動手段

最も多い外出目的地への移動手段について、「マイカー（自ら運転）」が 72.7%と最も多く、次いで「自動車（家族らが送迎）」が 9.2%と、自動車利用が非常に多い結果となった。

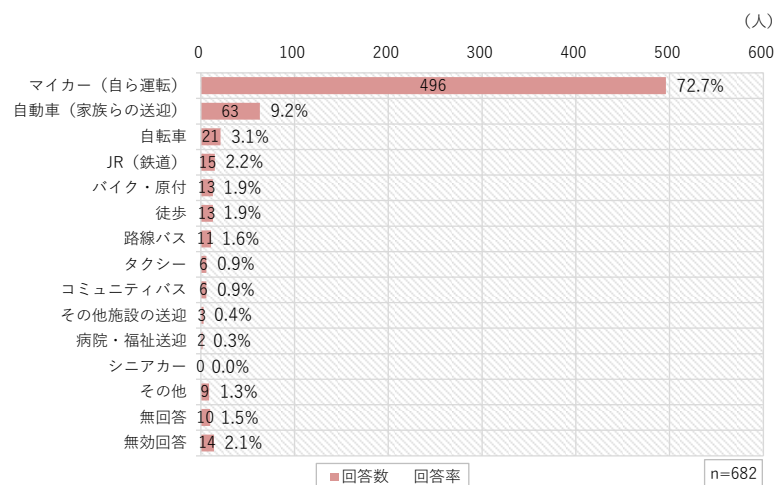


図 1-15 最も多い外出目的地への移動手段

F) 外出目的の組み合わせ

最も多い外出目的の組み合わせについて、「通勤と買い物」が37.8%と最も多く、次いで「通院と買い物」が25.0%と続き、主な外出目的と買い物を組み合わせることが多いことが窺える。

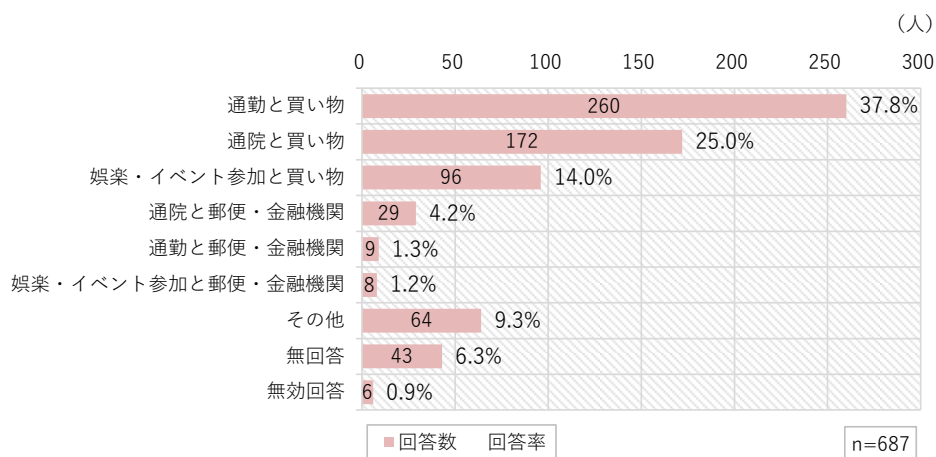


図 1-16 最も多い外出目的の組み合わせ

G) 買い物先の選択理由

買い物先を選ぶ理由として、「家から近い」が59.5%と最も多く、次いで「品揃えが豊富」が40.2%と続く。

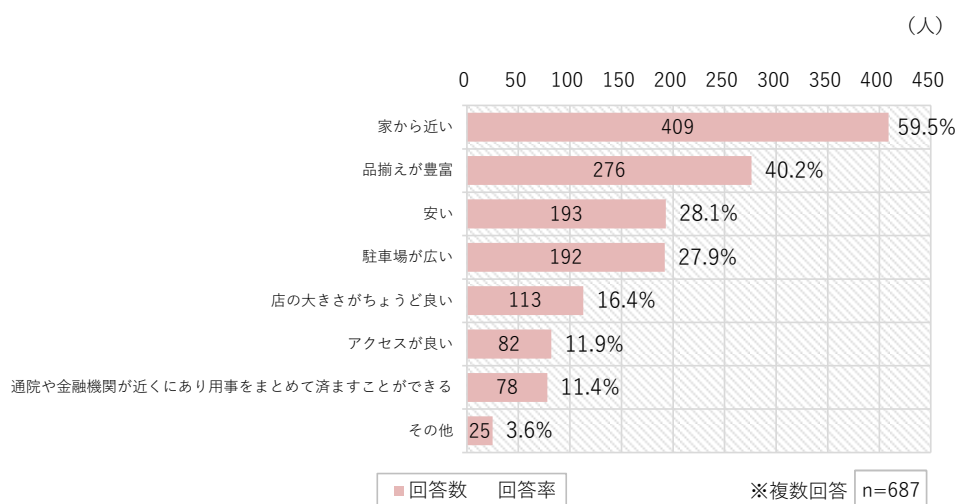


図 1-17 買い物先の選択理由

⑤ 送迎の状況

A) 送迎の頻度

「週に 1、2 日」送迎する人（される人）が 10.2%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」送迎する人（される人）が 9.8%と続く。

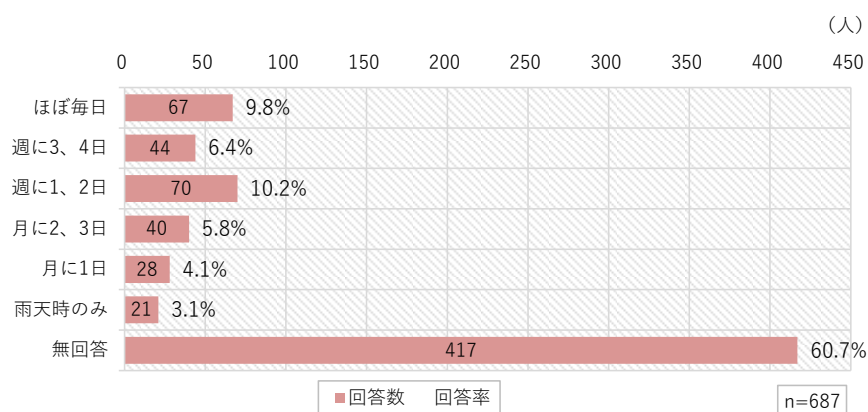


図 1-18 送迎の頻度

B) 送迎対象者

送迎対象者は「高校生以下の子ども」が 17.6%と最も多い。

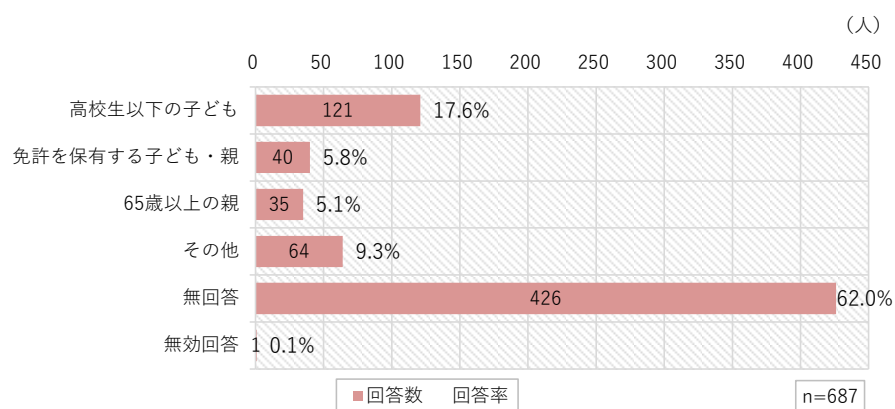


図 1-19 送迎者の内訳

C) 送迎の区間

送迎の区間について、「自宅から病院・スーパー」が 12.7%と最も多く、次いで「自宅から学校」が 7.1%と続く。また、「自宅から駅・バス停」も 5.2%との結果になっている。

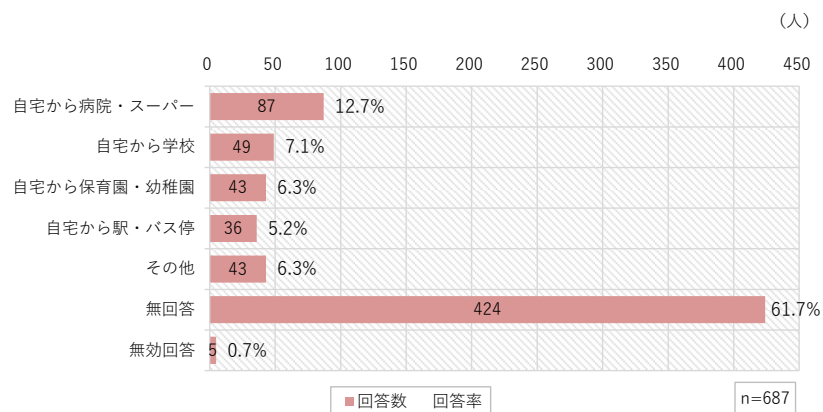


図 1-20 送迎の区間

1-2-3 公共交通に関する要望及び利用条件

(1) 公共交通に関する不満点

① 公共交通に関する不満点

「マイカーを運転して移動できる」が74.7%と最も多い一方、「運行本数が少ない」(19.5%)、「行きたい方向に路線がない」(14.1%)も多く見られる。

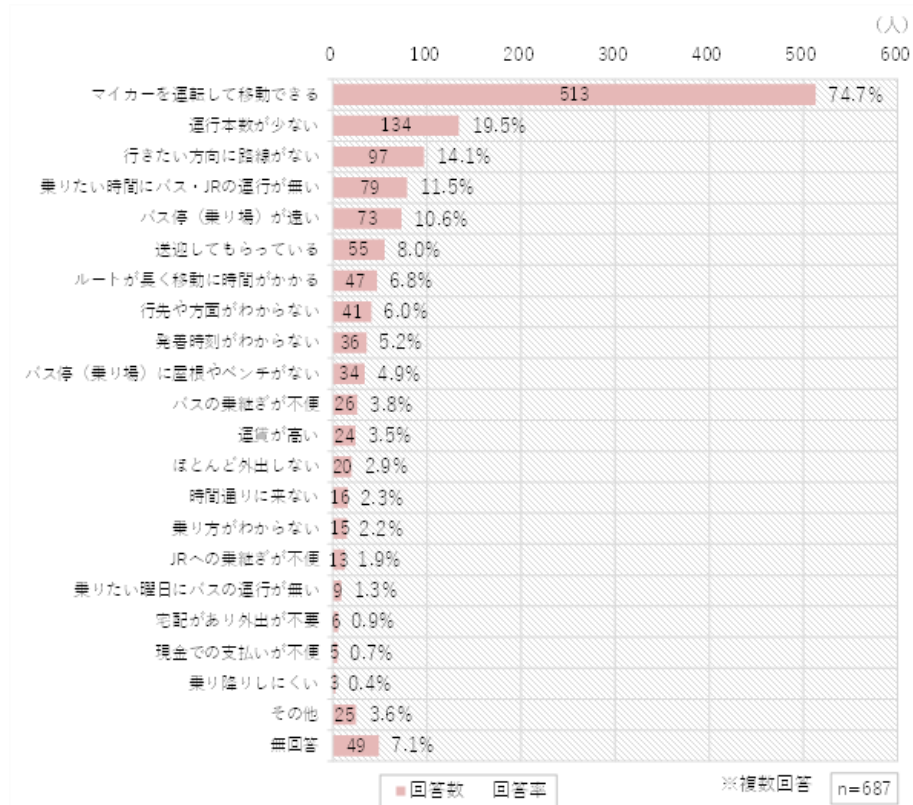


図 1-21 公共交通に関する不満点

② 公共交通を使いたくなるサービス

どのようなサービスがあれば公共交通を使いたくなるかの設問に対し、「C）雨の日など自転車等での移動から送迎に切り替わる際に、公共交通を気軽に利用できる仕組み」が「使ってみたい」及び「やや使ってみたい」の割合が42.9%と最も高く、次いで「D）地域主体で企画・運行する移動サービス」（同割合41.0%）が続く。

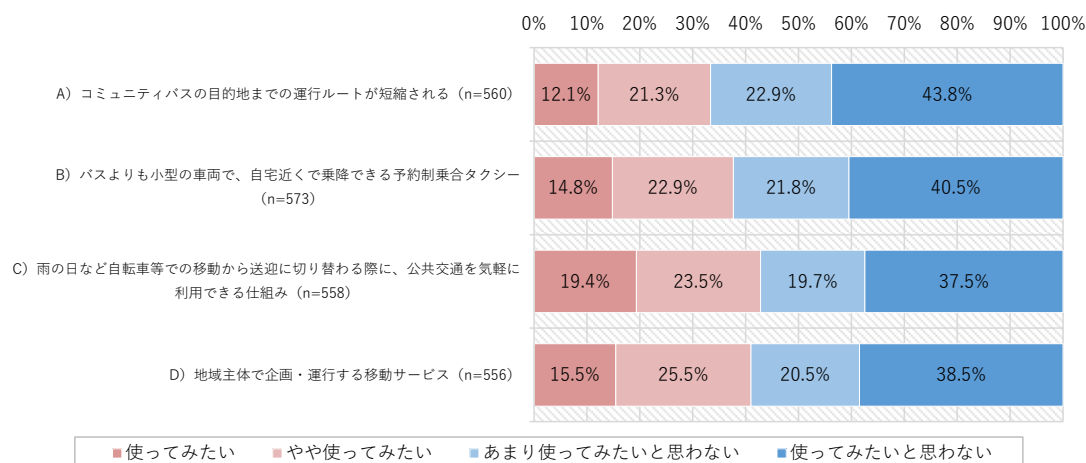


図 1-22 公共交通を使いたくなるサービス

(2) 公共交通の利用可能性について

A) 運転免許証返納のご意向

「自主返納済みである」は3.9%、「近く返納したい」が2.2%であるのに対し、返納する気が無いと回答した人（「今のところ返納する気が無い」及び「返納する気は全く無い」）は71.3%と高い割合を占める。

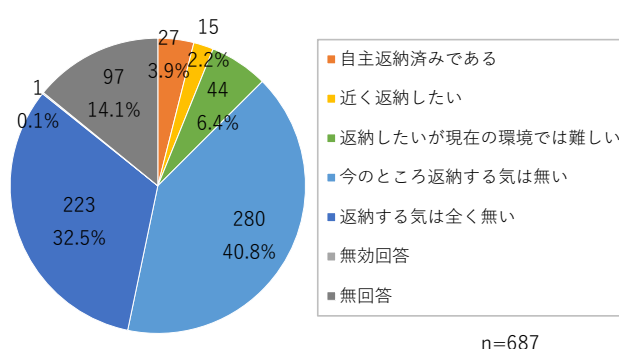


図 1-23 運転免許返納のご意向

B) 運転免許証返納の条件

運転免許証を自主返納する条件として考えられる事は「運転に自信がなくなった（事故やヒヤリハット、衰えを自覚した）とき」が72.4%と最も多く、次いで「公共交通の利便性が上がった場合」(34.0%)、「家族に免許返納を進められたとき」(33.3%)と続く。

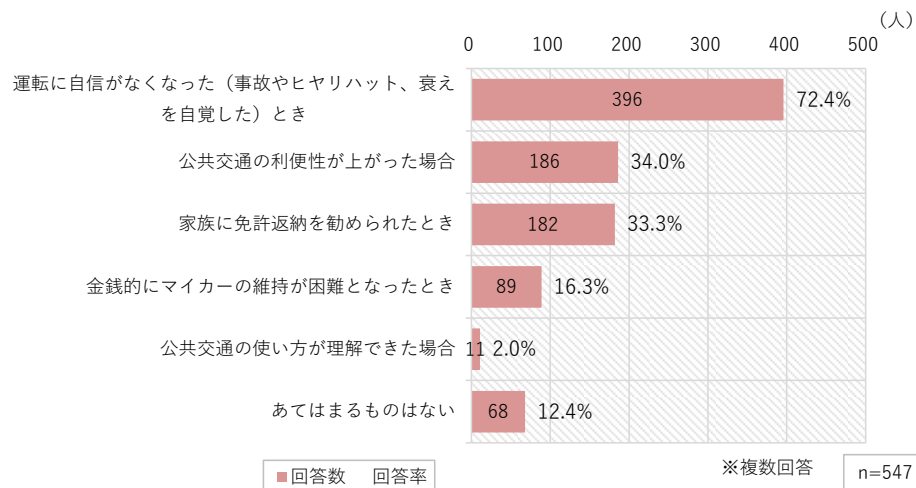


図 1-24 運転免許証返納の条件

C) 使ってみたいバスの条件

使って見たいバスの条件として、「便利さ」を挙げる人が66.5%と圧倒的に多く、次いで「お得さ（6.0%）」、「分かりやすさ（3.2%）」が続く。

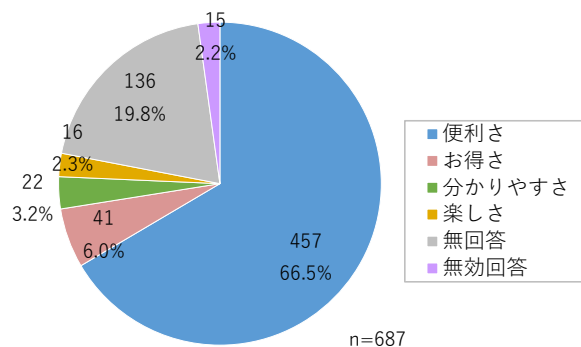


図 1-25 回答者の日常的な運転状況

1-2-4 要望等その他自由意見

(1) 中原校区から挙げられた要望等自由意見

要望等自由意見	居住行政区/年齢
JR 中原駅の歩道橋と、2 番・3 番ホームに屋根があるといいと思います。	蓑原/50～59 歳
コミュニティバスのバス停、雨の日でも利用しやすいように屋根付があれば良いと思います。	不明/60～64 歳
コミュニティバスは家の近くにルートが無いと利用者は増えないと思うので、路線を増やして欲しい。田舎は都会と違ってマイカー利用者が多く車が手放せない為、高齢化になる今、公共交通機関（コミュニティバス）を充実させることは必要と思う。	西寒水/40～49 歳
コミュニティバスは現在、月水金で運行されているけど、木曜日担当の先生（病院）の場合、乗れない。	山田/75～79 歳
コミュニティバス利用者をあまり見かけない。限られた方々だけの少人数バスで良いのではないかと思う。	中原/80 歳以上
バスがある事さえ知りませんでした。PR 等不足。ルート・料金等情報が不足しています。	蓑原/50～59 歳
バスに乗るにしても、「どこで時刻表を見ればいいの？」となることが多いので、すぐ検索して分かるといいなと思います。	不明/19～29 歳
バス停が分かりにくい。バスの路線図や、行き先が分かるものが欲しい。（どこでどこに行くバスがあるかも知らない）はじめましてのバスチケットを配るなど、普段利用していない人に利用してみてもらおう工夫が必要だと思う。	上地/40～49 歳
バス停まで遠い。	姫方/70～74 歳
バス停まで行くのが大変なってくるので、自宅前でも乗降出来たらいいですね。	香田/65～69 歳
バス停を増やして、バスの本数を増やしたら乗ると思います。	蓑原/60～64 歳
ひまわりタクシーの行先に、通夜・葬儀場を加えてほしい（年齢を重ねると出席の回数が増えるが、現在は使用できない）。	姫方/70～74 歳
マイカーまたは自転車利用が多く 現在のライフスタイルでは 公共交通機関の必要性は感じません。しかし 質問内容から高齢になった際の必要性はあるのかなと感じました。より良い公共交通についての取り組みが洗練されるようアンケートについては 継続していただけたら将来良いものになるのではないのかと思いました。また自動運転のコミュニティバスについても取り組み、実用化の時期と免許返納のきっかけとなるようなインフラの整備を計画的に進めていただけたら良いと思いました。	不明/40～49 歳
運転が出来なくなったらドライブに行けなくなる不安があり、気軽に外出して楽しめる企画があると良いと思います。帰りはスーパーでお買い物して帰るみたいな、生活にも気を使ったもの。通勤もテレワーク（社用車で直行直帰）が増えて、交通機関での通勤が少なくなった。	不明/50～59 歳
運転免許証を返納したら、移動手段が無いので、是非コミュニティバスを利用したいと思います。	山田/65～69 歳
何処でも乗降出来るバス導入。	姫方/75～79 歳
家から近くにバスが通る。	姫方/65～69 歳
各家庭に（ルート）（時間割り）を配って欲しい。	西寒水/75～79 歳
現在のコミュニティバスは、非常にありがたい存在です。免許証返納したものにとって、皆が使いやすいよう、時間帯を増やして頂ければ、利用も増え、返納者も安心だと思う。	東寒水/70～74 歳
公共交通の利便性は大切なことと思いますが、居住する地域の環境（買い物・医療等）の充実により、移動範囲が広くなくても良い、となる部分もあるかと思っています。	東寒水/60～64 歳

要望等自由意見	居住行政区/年齢
校区内巡回バス：ドア to ドアを基本として曜日ごとの予約スケジュール管理で巡回する。 校区外巡回バス：ドア to ドアを基本として校区外の主要施設（行政施設・病院・ショッピングセンター）のみを毎日の予約スケジュール管理で巡回する。	原古賀/65～69 歳
高齢者になると、バス停が遠いとなかなか利用しにくい。直ぐにはなくても地域別に小廻り出来るバス停が欲しい。曜日別でもいいです。	姫方/75～79 歳
災害が起きる前に避難させるバスがあれば良いかと？ 一人暮らしのお年寄りは移動する手段がないので、困っている方々が多いかと思います。	西寒水/50～59 歳
車が通行出来る道ならどこでも 1 日 1～2 回通れる様にすれば、返納も考える。	西寒水/80 歳以上
小学校からメディカルまでの定期便があると夕方の子どもの習い事に預けることができる	原古賀/30～39 歳
上記の事について情報がない為、まずは情報共有化。その後考えたい。又は利用しやすい環境をつくる。	不明/40～49 歳
乗り場が遠すぎる。中学校付近にもあったら良いかも。	姫方/65～69 歳
職場でコミュニティバスの時間、行先等をよく聞かれますが…時刻表がわかりづらいのでは？と思います。西鉄バスの本数も少ないので、町のコミュニティバスがあるのは本当に良いことだと思います。続けて欲しいです。	中原/50～59 歳
足腰など悪くなると、余計にバス停までやバス停から目的地まで歩くのが困難になり、余計に家の前から目的地の前まで移動できるマイカーが必要になってくる。家の前まで迎えに来る福祉タクシーなどが安くて利用出来たらいいのですが。	山田/70～74 歳
中原駅周辺に駐車場を整備してほしい	西寒水/50～59 歳
町内であれば、タクシー料金が 300 円以内ではどうでしょうか。300 円以内であれば、買い物や通院に利用できます。	原古賀/70～74 歳
通学の時間帯に合わせてバスが出ると利用したい。	不明/40～49 歳
停留所をもっと増やして、少しでも夏は涼しく、冬は暖かく保てられるような所にして欲しい。みやき町の特徴のあるアピールする停留所を作ってほしいです。	姫方/65～69 歳
東寒水の道路幅が狭いため、西鉄バスなど大型車が通ると自転車が危く思う。	簗原/40～49 歳
年をとったら、バス停まで歩くのが大変なので、小型車両で自宅近くまできてくれる方が、利用者は増えると思います。	原古賀/65～69 歳
必要な方は多くいらっしゃると思います。もう少し広く案内してもいいと思います。	原古賀/40～49 歳
姫方北住近くにコミュニティバスが止まるようにしてください。元保育園跡地に施設（はなみずき）もできました。よろしくお願いします。	中原/80 歳以上
免許返納して 4 ヶ月位ですがコミュニティバス、タクシー（助成券）を利用させてもらい、JR やバス等と時間を合わせて利用しております。おかげであまり不便は感じずに暮らしていますのでありがたいです。	中原/75～79 歳
目的地が近くならコミュニティバス、遠方なら乗合いタクシーの使用など使い分けると便利であり、利便性をもっと教えて欲しい。	不明/50～59 歳
目的地までの交通手段が少ない。車が一番便利。	不明/19～29 歳
予約を、してもらうか？または、タクシーみたいに、相乗りで、してもらいたい	中原/50～59 歳
余り知らないのですが、既に対応されているかもしれませんが、近隣のコミュニティバスと連携して、町外まで安く乗り継ぎが出来ると良いと思いました。	原古賀/40～49 歳
来年も外出支援タクシー利用助成券が発行できる様にお願い致します。夫婦共に感謝の気持ちで一杯です。	簗原/70～74 歳
料金と、便利さがないとなかなか使わないと思います。	綾部/50～59 歳

要望等自由意見	居住行政区/年齢
例えば、聖マリアや久留米医大などに毎週通院しなければならなくなったとき、毎回乗り換えればいいのだろうと考えます。予約の時間に間に合わせるように逆算して、歩く時間も入れて設定すると一日がかりの受診となります。帰りの時間はまちまちなので、公共交通時間に合わせることもできず、本数が少ないので暑い時・寒い時辛く感じます。タクシーを毎回使う余裕はありません。子育て支援のファミサポのように町から補助のある有償ボランティアによる移動手段が充実するとありがたいです。	姫方/60～64 歳

(2) 北茂安校区から挙げられた要望等自由意見

要望等自由意見	居住行政区/年齢
(コミュニティに) JR 久留米駅・久留米医大とかまで行くバスがあったらいいと思う。上峰・吉野ヶ里町等と協力して運行できたらいいと思う。	板部/50～59 歳
アプリで簡単に時刻確認、ルート確認、料金確認が出来て、地域の主要ルートを循環できる便利なバス。	白壁/50～59 歳
いずれ運転できなくなった場合には、買い物に利用させていただきたい。スーパーまで連れて行ってもらえ、20 分～30 分待機して、帰れると助かるのでは？ 帰りのバスを待つために、時間をつぶすことが高齢の母を見ていると困難のようだ。	不明/50～59 歳
いつでもどこでも乗り降り出来る交通機関	白石/65～69 歳
コミュニティバスがもっと時間的に便利だと使いたいが、思ってる時間に合わない等、ちょっと不便を感じる時がある。	白壁/70～74 歳
コミュニティバスのバス停が少ないので増やして欲しい。運行も毎日であれば利用したいと思う。今は、曜日指定の運行で利用したい選択肢には、考えられない 運行しているのであれば、時間まで待つことは、選択肢として考えられる。	豆津/70～74 歳
コミュニティバスの利用者が少なく、もったいないと思います。	不明/50～59 歳
コミュニティバスは、家からすぐで、三根まで時間が良く便利です。私には、とっても良いバスで利用も多いです。友達は、自分の所は通ってないし？ 場所によって違うと思います。	石貝/75～79 歳
コミュニティバスは、私は、西鉄ストア、ダイレックス、トライアル、銀行、石貝団地前のコースは、中原方面に向かう。真逆になっているため、利用できない。	石貝団地/80 歳以上
コミュニティバス続行をお願いします。よく利用している為。	白石/50～59 歳
コミュニティバス停を増やして下さい。千葉信号の東の場所に押しボタン信号増設してください。	北茂安/80 歳以上
タクシー券は、みやき町内ならどこでも利用できるようにしてください。	東尾/65～69 歳
とにかく近くに公共交通がないから乗りたくても歩いていくしかないが、遠いから利用できない。何とかしてもらわないと。今の年金事情では、タクシーも乗れない。免許返納は絶対できない。	不明/50～59 歳
バスの本数が少ない。	豆津/70～74 歳
バスは現状で十分と思うが、本数が少ないので、使いにくい。病院、買い物限定の運行のみ目的としているみたい。校区別のルートになっているが、1 日 3 町を巡るコースがあると行動範囲が広がり、交流も広がると思う。	石貝/70～74 歳
バスも電車も数が少なすぎて時間が合わない。	石貝団地/19～29 歳
バス停でなくても、止めてくれるバス（乗り降り自由）。アンケートの仕方が難しい。今はマイカーだが、いずれはお世話になる。利用しやすいバス。	市原/65～69 歳

要望等自由意見	居住行政区/年齢
ひまわりタクシーを利用しています。大変助かっています。料金が安いので助かっています。	北茂安/75～79 歳
ひまわりタクシー制度は続けて欲しい。	笹野/80 歳以上
ほとんどの家庭が車で移動が多い。小さいうちから、公共交通機関に親しむようなイベントや、体験プログラムが必要だと思います。	石貝/50～59 歳
まだ 20 代なので、返納はずっと先だし、両親が返納の年代になった時、地区に店なし。バスは、1 時間に 1～2 本と不便になると思います。その時は、コミュニティバスを利用するかもしれませんが、マイカーがある今は、使うことはありません。いずれ返納する時に利用する。コミュニティバスは、維持が大変でしょうが続けていただきたいです。※通勤アンケートで、週 5 日の項目が無いのは、どうしてでしょう。若い年代は、その段階で、このアンケートをやめようかと思う人がいるんじゃないでしょうかね。	江口/19～29 歳
みやき町の公共交通について、現状では、必ずしも広報が行き届いているとは思われないので、もっときちんとした形で情報提供すべきだと思います。	中津隈東/60～64 歳
みやき町は住みやすいのですが、車が必須です。鳥栖、久留米、佐賀へ、又はそのにつながる JR など、公共機関へのバス等の路線（ルート）や数を増やしてほしいです。	不明/40～49 歳
みやき町は北方・南方に縦に長いので、コミュニティセンターを中心に北廻り、南廻りで交通体系を考えられたら良いと思います。公共交通のバスとして、目的①JR との接続②路線バスとの接続③町内の行事への接続④スーパーマーケットや買い物など、どの項目を目的にするのか絞った方が良いと思う。	江口/80 歳以上
みやき町外には行けないのですか？ 例えば、JR 久留米、鳥栖等、近くの市町村など。行けたらマイカーもさほど必要なくなるかも。特に白石は交通の便が悪いので、公共交通に頼れないです。	白石/65～69 歳
もっと路線を細かくして欲しい。	東尾/30～39 歳
やはり付近に駅がないのでバスは無くさないで欲しい。	石貝/40～49 歳
以前利用した事もあるが、利用したい時間帯の運行がなく、毎日利用できない。料金的には安くて良いと思う。	中津隈西/40～49 歳
一度だけ大島病院からコミュニティバスに乗った事があります。その時自家用車だったら 10 分前後で家に着くのだが、乗ってみた結果、家に着くまで 40 分前後かかってしまった。仕事をしなくなったら時間に余裕があると思うが、まだ子どもの送り迎えをしている最中、そこまでの余裕な時間がない。	東大島/40～49 歳
夏休み等、小学生の子が習い事に行く際にコミュニティバスを利用しようと思いましたが、ちょうどいい時間がなく…。予約等で送迎してもらえる事業などがあると助かります。また、北茂安小は小学校から学童への距離も長く、低学年は送ってもらえると安心です。	中東/40～49 歳
久留米や福岡に行けるコミュニティバスの便が増えれば、若い人もみやき町に移住すると思う。	不明/50～59 歳
近くにバス停がない	白石/75～79 歳
近隣の市町村と連携した公共交通の整備してもらいたい。また、スーパーなどとも連携して、公共交通を利用する高齢者を対象にした割引制度などを整える。	豆津/19～29 歳
決まったバス停ではなく、どこでも手を挙げれば乗車できる運行を希望する。	中津隈/65～69 歳
月に 1 回くらいでいいので、小学生の子供にバスで通学させたい。子供はバスに乗る機会が少ないので。バスの便利さも気付けたらいいと思います。	江口/40～49 歳
現在は、車の運転は支障なく出来ていますが、高齢となり運転できなくなったら、公共交通の必要性を感じると思います。	石貝団地/65～69 歳

要望等自由意見	居住行政区/年齢
現段階ではマイカーからの転換はないのですが、先々で転換となった時、もっと身近なコミュニティバス、例えば自宅の近くまでの運行、午前午後の便の充実、お年寄りだけでなく学生等も乗れる様など PR の充実、できればバス停の雨風の対応など考えていただければと思います。	中津隈/65～69 歳
公共交通だと時間に縛られるため、マイカーが良い。今はまだ自家用車の運転に困っていないが、さすがに 80 代になったら考慮したいと思っている。※実家は、バスも通らない交通の便が悪い所ですが、小学生は通学にバス利用でき、とても良い時代と思っています。	中西/60～64 歳
行政区の中まで入ってきて欲しい	板部/80 歳以上
今は車で移動していますが、もしバスを利用するようになった時、久留米まで本数を増やしてほしい。	市原/75～79 歳
子どもの習い事の送迎に利用できるような仕組みがあると良い	板部/30～39 歳
私の家からコミュニティバス停が遠い為、利用する気はあまりしない。今の所、まだ運転に自信がある。	江口/70～74 歳
自宅近くに西鉄バスのバス停はあるが、コミュニティバスのバス停がない。不便だ。	不明/70～74 歳
自分が運転が出来なくなった時に、図書館まで連れていてくれるバスがあったらいいなあと思っています。	白壁/60～64 歳
小学校の送迎を班や地区でしてくれると助かる。子どもと遊べる場所に行きやすいバスがあると嬉しい。	白壁/40～49 歳
昭和 50 年代、移動販売の車が地区で何か所と来て、車のなかった時は便利でした。これからは交通の便利の悪い所には、地区で何か所か移動販売が止まってもらいたいと思います。	白石/80 歳以上
障がいを持った方やお年寄り、利用する人の身になって便利な公共交通ができますことを願っています。	千栗/70～74 歳
上峰町の様に子供が気軽に使えるバスがあればいいな。と思います	不明/30～39 歳
乗降がバス停にこだわらず、希望で自由にどこでも可能なバス。	石貝団地/70～74 歳
西鉄バス停までの乗り継ぎが便利になれば良い。茂安通りを南北に、その他も大通りの乗り継ぎを便利にしてほしい。そうすることにより、西鉄バス、町内循環バスも乗車率が上がると思います。	白石/80 歳以上
待ち時間がある事が一番嫌です。それに路線が少ない。今は自分で移動できるので、もう少し年を取ってから真剣に考えます。	石貝団地/65～69 歳
駐輪場のないバス停を利用している。もし駐輪場があれば、バスの利用が増えるはずで	不明/40～49 歳
鳥栖市へ行けるバスがあればよい	不明/50～59 歳
豆津からおおば内科方向の路線があると助かります。	豆津/80 歳以上
道瀬橋から 34 号線沿いにバス停が欲しい	不明/40～49 歳
年をとったら、近くにコミュニティバスの乗り場が無いと、どうやって免許返納して生活すれば良いのだろうか？ ネット生活か？	白石/40～49 歳
買い物できる場所（スーパー）に停留所を作してほしい。	白石/40～49 歳
発着時間が分からない。行先がわからない。	中津隈東/80 歳以上
普通の生活に使用するには不便過ぎます。	東尾/50～59 歳

要望等自由意見	居住行政区/年齢
便利さが一番。毎日、本数もまあまあ多く。ルートもわかりやすく短く。特にクリニックの近くを通るとか。	東大島/50～59 歳
北茂安を走る 40 番のバスが目達原発着が減り青葉台発着となり、みやき町を通らなくなって不便になった。みやき町内に折り返しできる場所を作れたらいいと思う。中原駅が無人駅となり、ゴミが捨てられたりして荒れている。駅の事務所に小さな店など開いたら少しは活気が戻ると思う。中原駅から鳥栖で福岡方面に乗り換える場合の接続が悪くなったので、町として JR に意見を出して欲しいです。	東尾/30～39 歳
免許返納した時に、目的地まで乗れる小型のバス、乗合タクシーがあったら生活が便利になるのでは、と思います。	市原/50～59 歳
免許返納は、今年 12 月末に予定しているが、その後の日常生活が不安です。一人生活者で、移動手段（通院、買い物）が最大の悩み。	北茂安/80 歳以上
免許返納後の年齢にならないと、回答しづらい質問でした。ただ私たちがコミュニティバスを利用する頃は、利便性が良い状態になっていて欲しいものです。	千栗/60～64 歳以上
目的地までに各所を廻り過ぎるので、時間がかかりすぎる。	不明/80 歳以上
路線から離れた小さな集落なので、設営が困難かと思われる。	中津隈東/75～79 歳
老親の病院、スーパー等マイカーで送迎しています。みやき町の校区だけの公共バスではなく、みやき町全体を巡回して欲しいです。スーパー等の時間が短いです。1 時間位では買い物ができません。もっと長くしたらいいいと思います。免許返納したら、タクシーが安くなるようにして欲しいです。	白壁/50～59 歳
1 時間に 2 本バスを通してもらいたいです。JR の出発・到着に合わせたバスの運行。	西尾/19～29 歳

(3) 三根校区から挙げられた要望等自由意見

要望等自由意見	居住行政区/年齢
(買い物に限っては) 地区ごとに移動販売車が来てくれたら助かります。ご近所さん同士でお話が弾みます。バスで行ったら、帰りの荷物が重すぎます。例えば三根町は、アスビス号ではどうでしょうか。	大坂間/65～69 歳
お金が赤字の場合は、廃止するといひ。	坂口/40～49 歳
コミュニティバス、日曜運休は困る。コミュニティバスの運行表・時刻表が自分が住んでいる所(自宅)→目的地迄を詳しく表してほしい。各行政区別に表示してほしい(大きく)。	西分/75～79 歳
そもそも近くにバス停がない。バス停の設置は需要がないから、実現しない。要望しても需要が見込めないから、僻地は切り捨てられる運命では? マイノリティの意見は軽く見られがち。あまり期待していない。	坂口/50～59 歳
バスの本数が少ない。乗る人が少ないんだと思った。ミニバスで、借りたい時間に、安く乗れるバスがあったら良いともう。	不明/40～49 歳
バスの本数が少なく、時間の融通がきかない。	西分/19～29 歳
バスは今、1 時間に 1 本は運行されています。高齢になると、バスがなければここでは住めません。よろしくお願いします。	不明/80 歳以上
バス停から近い方はいいが、遠く離れている方はそこまで来るのに大変そうです。	浜田/65～69 歳
バス停が近くにないと利用は難しい。	浜田/40～49 歳
バス停に駐輪場や屋根、ベンチがあれば嬉しい	新町/40～49 歳

要望等自由意見	居住行政区/年齢
マイカーがなくとも生活に支障が出ない程度に、公共交通機関が利用できるようにしてほしい。JR の駅へ直通のバスの運営など。	市武/50～59 歳
まだ利用経験がないのでよくわかりませんが、利用されている方々からお話を聞くと、本数が少ないとか、目的地までに時間がかかるとかお聞きしますので、免許を返納する時が不安に感じています。	不明/60～64 歳
ルート MAP、時刻表を広報にのせたりして、具体的にどこまで行けるのか、わかりやすくしてほしい。	不明/30～39 歳
外出支援タクシー券を 1 年分頂いておりますが、私の場合は必要な時のみ役場へ頂きに行っても良いと思っておりますが…。あれだけ頂くのは勿体ないと思って。	東分/80 歳以上
期日前投票や確定申告等、三根地区から北茂安へ行くのが不便なので、行きやすくなればと思います。	土井内/80 歳以上
久留米（城島）のインガット号バスは三根アスタラピスタを駐車場としている。町外、県外まで路線拡大を取り入れたらどうかなあとと思います。JR 久留米とか停車場にしたら、バス乗る人増えると感じます。	新町/40～49 歳
久留米に行きたい時のバスの本数が少ない。	不明/30～39 歳
久留米方面に仕事で行きますが、久留米方面への利便性が高まると助かります。自宅からバス停まで遠いのもちょっと…というかんじです。	東津/30～39 歳
現在はまだバスを利用するつもりは無いが、もし利用するとしたら、決まった場所での乗降ではなく、希望する場所で乗降できればベストだと思う。	向島/65～69 歳
校区によって利便性が違う（商業施設や交通機関の本数）。町内だけの運行ではなく、久留米など近隣まで運行して欲しい。実際に、アスタラピスタ三根店には、久留米のコミュニティバスが運行しています。	土井内/30～39 歳
江見バス停の屋根付き待合所設置をお願いします（雨、風、時間遅れ等で立って待つのが、高齢者には堪える）。	江見/75～79 歳
行った先ですぐ来るバスなら使いたいです。	不明/50～59 歳
高校通学用のバスの便を幅広くしてほしい。どうしても町内のみだと利便性が欠けるように思います。	松枝/50～59 歳
佐賀でのバス利用は、なかなか難しいと思う。路線も少ないし、年をとってから利用するなら、寄合バスみたいな小さな車で、予約をしたら低価格で 1 ヶ月の限度額を決めてもらって、乗れると便利だなと思います。	東分/30～39 歳
三根のアスタラスーパーから上峰の方につなげてほしい。上峰の病院に行く回数が多いため。又、JA にも行きたい。	新町/75～79 歳
三根校区からは隣接する上峰、千代田（神埼）、吉野ヶ里への病院や金融機関の利用が多いかと思われます。	江見/50～59 歳
三根地区からの学校への公共交通は今後お願いしたい（高校、JR 駅）。	新町/60～64 歳
子どもが学生の時に利用したかった（その頃はなかったの）。西鉄電車（大善寺駅）への運行があれば利用したい。	土井内/50～59 歳
子供が挨拶しても無視する運転手がいるとのこと。また、たまに出発時間のギリギリになってしまった時に嫌味を言われる。いずれも同じ運転手とのことだった。40 代くらいの方だが、その人の時には子供が乗りたくないという。何度か、私がコミュニティバスまで車で送って行った時には運行時間の 1 分前に出発していた。こちらがコミュニティバスの横につけたので運転手の方が認識できていないことはないと思うが…。朝から不快な思いになり残念だった。相手は高校生が多いので、対応にはもう少し配慮してほしい。	不明/30～39 歳

要望等自由意見	居住行政区/年齢
自宅よりコミュニティバスの停車場が近場がない為、将来車を運転できない時は、どうすれば良いか大変不安である。	不明/65～69 歳
自宅近くまで迂回してもらいたい（バス停が遠すぎるため）。	土井内/80 歳以上
小路までの主な場所まで来てもらうなら。	南島/75～79 歳
上峰を回るバスが無い。本数が少ない。ぐるぐる回って時間がかかる。	新町/60～64 歳
孫が高・中と 2 人、佐賀の学校に行っています。吉野ヶ里駅からコミュニティバスが出ているのですが、残念ながら帰宅の列車の到着時刻に丁度いいバスがないようで、いつも迎えに行っています。時間もバラバラなので仕方ありませんが。	新町/70～74 歳
地球環境にやさしいエコカーバスの導入を要望します。	不明/60～64 歳
弟がバス停まで毎日送ってもらっているので大変だなと思う（朝 6：30 位の佐賀行きがなくなった為、親が大変になっている）。	東分/19～29 歳
買い物、金融機関の使いやすい時間設定。バス停にベンチ設置。遠回りにならないよう短時間で移動出来るようにして欲しい。	不明/65～69 歳
買い物バスの運行回数の増。	坂口/50～59 歳
利便性向上を図って欲しい	浜田/30～39 歳

第2章 高校生アンケート調査の結果

2-1. 調査の概要

みやき町在住の16～17歳の高校生（または保護者）を対象に、通学時の移動の現状、公共交通利用の実態やニーズ、家族による送迎の実態等を把握するため、高校生アンケート調査をWebにて実施しました。

表 2-1 高校生アンケート調査の概要

調査実施期間	令和4年9月	<調査票>  
調査対象	みやき町在住の16～17歳の高校生	
調査方法	450通郵送配布（はがき）、Web回収	
回収数	139票（回収率30.9%）	

2-2. 調査結果のまとめ

2-2-1 回答者属性

回答者の所属高校について、22.3%が佐賀市内の高校に通学しており、次いで三養基高校が15.8%、鳥栖工業高校が12.2%となっている。

回答者の居住地区は北茂安地区が38.8%、三根地区が36.0%、中原地区が25.2%であった。

回答者の学年の内訳は、50.4%が2年生、1年生が49.6%、3年生は0.0%であり、また性別の内訳は男性が44.5%、女性が52.5%となっている。

部活動への所属について、78.4%が何らかの部活動に所属していると回答している。

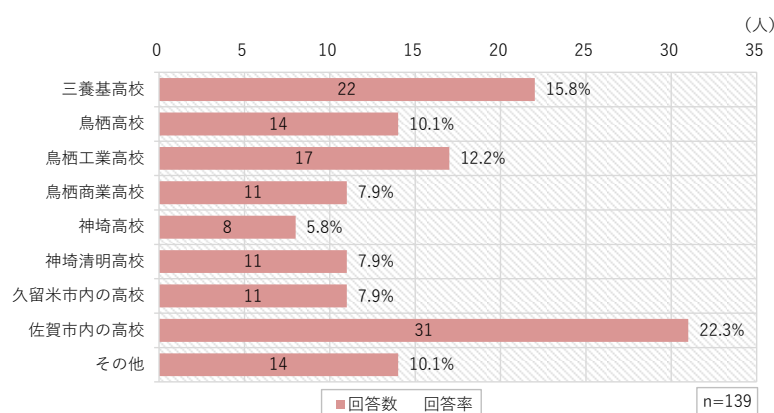


図 2-1 回答者の学校の内訳

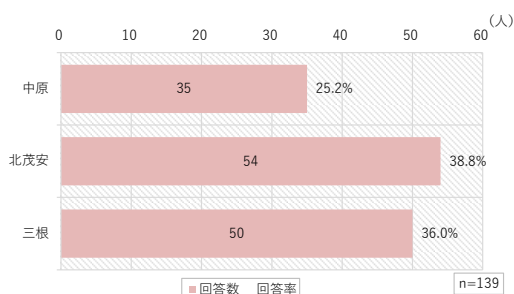


図 2-2 回答者の居住地区

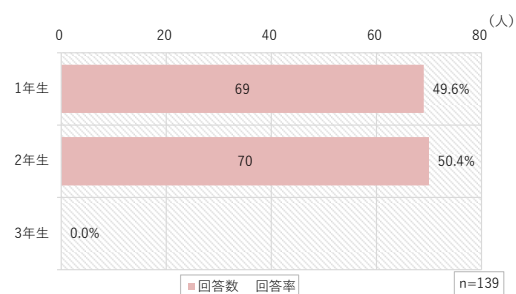


図 2-3 回答者の学年

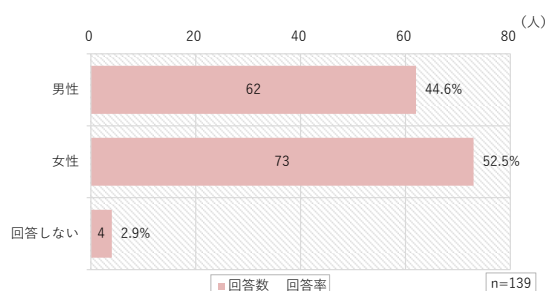


図 2-4 回答者の性別

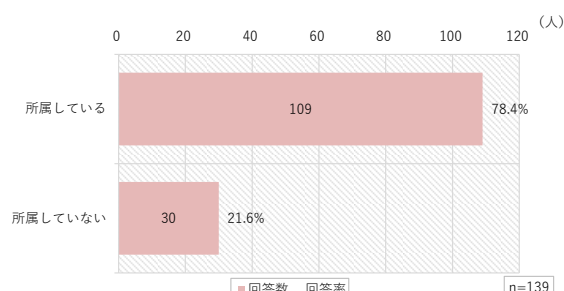


図 2-5 部活動への所属

2-2-2 調査結果のまとめ

(1) 普段の通学状況

① 登校時（晴天時）の通学手段

A) 登校時の移動手段（晴天時）

晴天時の移動手段について、自転車が64.0%と最も多く、次いでJR（48.2%）、家族の送迎（31.7%）が続く。通学支援バスは23.7%と4番目、路線バスは16.5%と6番目という結果になった。

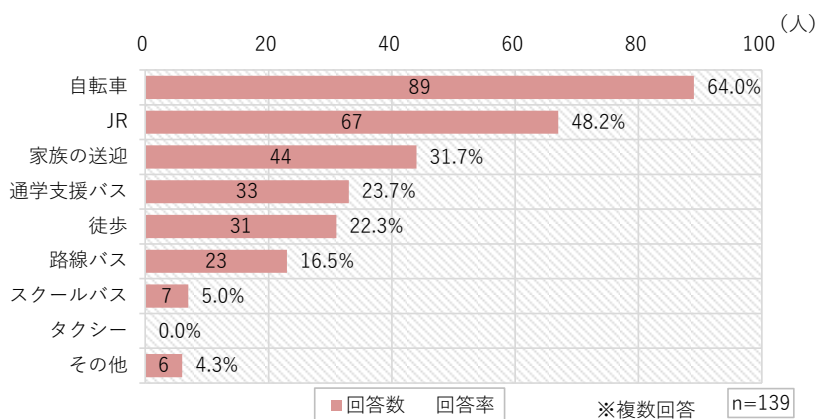


図 2-6 高校生の通学手段（晴天時）

B) 登校時に乗車する駅・バス停（晴天時）

晴天時、登校の際乗車利用する駅・バス停で最も多いのは「中原駅」で、55.1%と過半数を占め、次いで「吉野ヶ里公園駅（11.5%）」、「西島」バス停（9.0%）が続く。

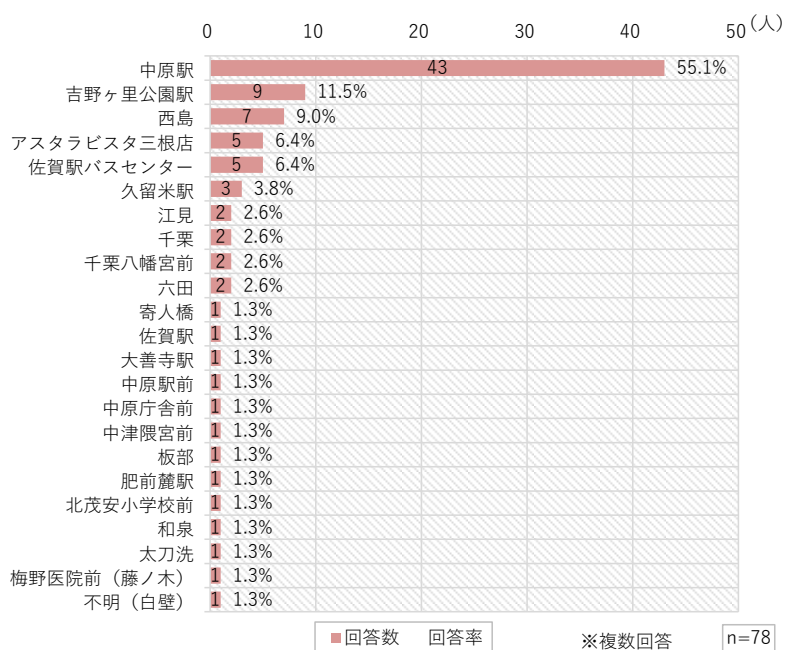


図 2-7 高校生の登校時の乗車駅・バス停（晴天時）

C) 登校時に降車する駅・バス停（晴天時）

晴天時、登校の際降車利用する駅・バス停について、「佐賀駅」が 27.7%と最も多く、次いで「鳥栖駅（16.9%）」、「神埼駅（12.3%）」と JR 駅が上位を占め、通学支援バスの「吉野ヶ里公園駅（北口）」が 10.8%とそれに続いている。

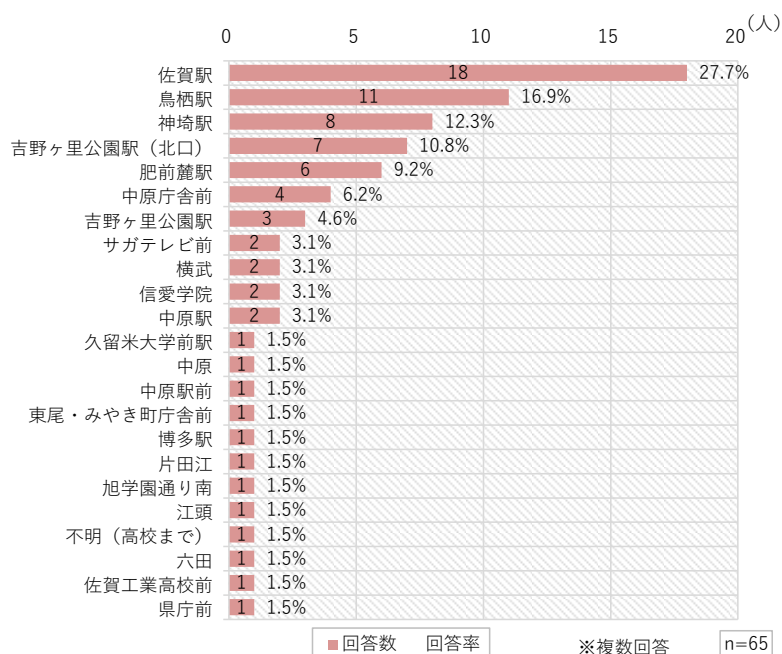


図 2-8 高校生の登校時の降車駅・バス停（晴天時）

D) 下校時の移動手段（晴天時）

晴天時の下校手段について、自転車が 60.4%と最も多く、次いで JR（47.5%）となり、家族の送迎が 39.8%と増加してそれに続く。通学支援バスは 22.3%と 4 番目、路線バスは 15.1%と 6 番目という結果になった。

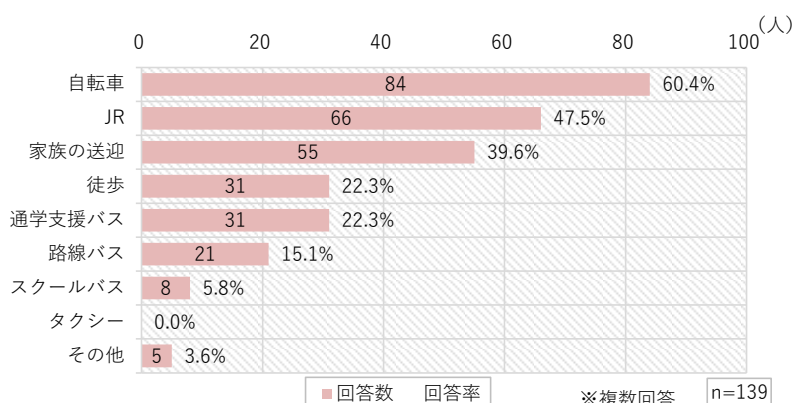


図 2-9 高校生の下校手段（晴天時）

② 登校時（雨天時）の通学手段

A) 登校時の移動手段（雨天時）

雨天時の移動手段について、「家族の送迎」が 68.3%と最も多く、次いで「JR（46.8%）」、「自転車（31.7%）」が続く。「路線バス」と「通学支援バス」はともに 20.9%となった。

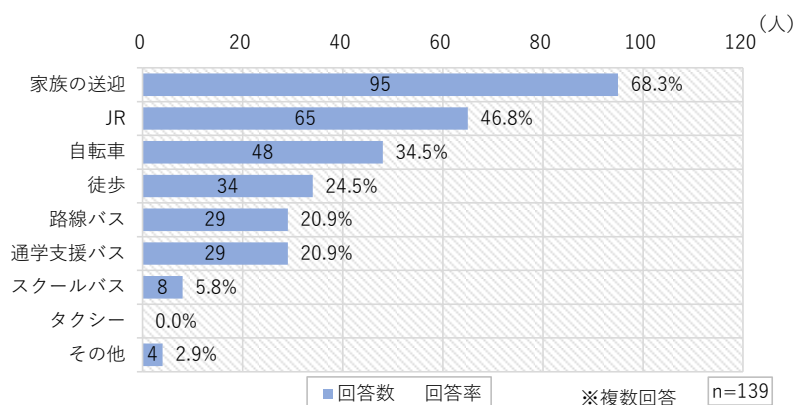


図 2-10 高校生の通学手段（雨天時）

B) 登校時に乗車する駅・バス停（雨天時）

雨天時、登校の際乗車利用する駅・バス停で最も多いのは「中原駅」で、60.3%と晴天時よりも増加した。次いで「吉野ヶ里公園駅（12.8%）」、「西島」バス停（9.0%）」が続く。

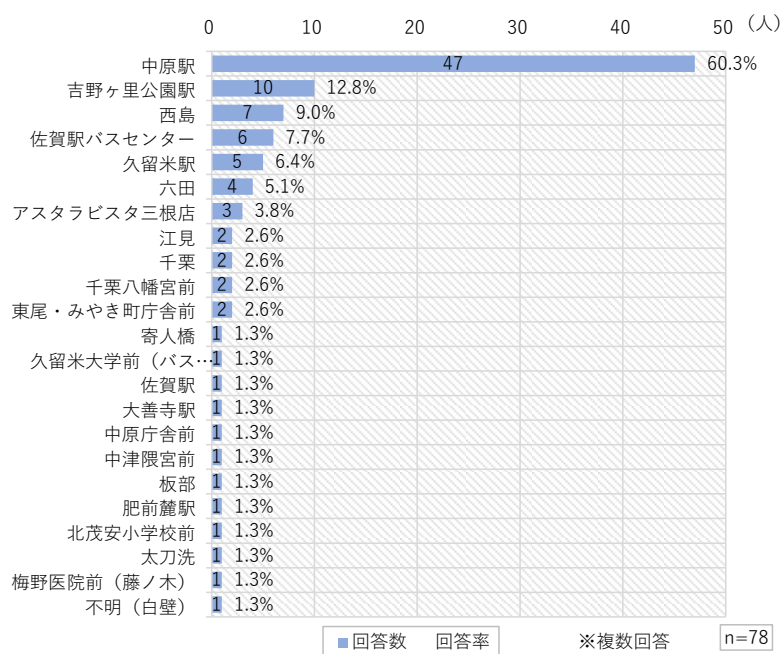


図 2-11 高校生の登校時の乗車駅・バス停（雨天時）

C) 登校時に降車する駅・バス停（雨天時）

雨天時、登校の際に降車利用する駅・バス停について、晴天時と変わらず「佐賀駅」が 26.8%と最も多く、次いで「鳥栖駅（19.7%）」となっているが、通学支援バスの「吉野ヶ里公園駅（北口）」が「神埼駅」と同率で 9.9%とそれに続いている。

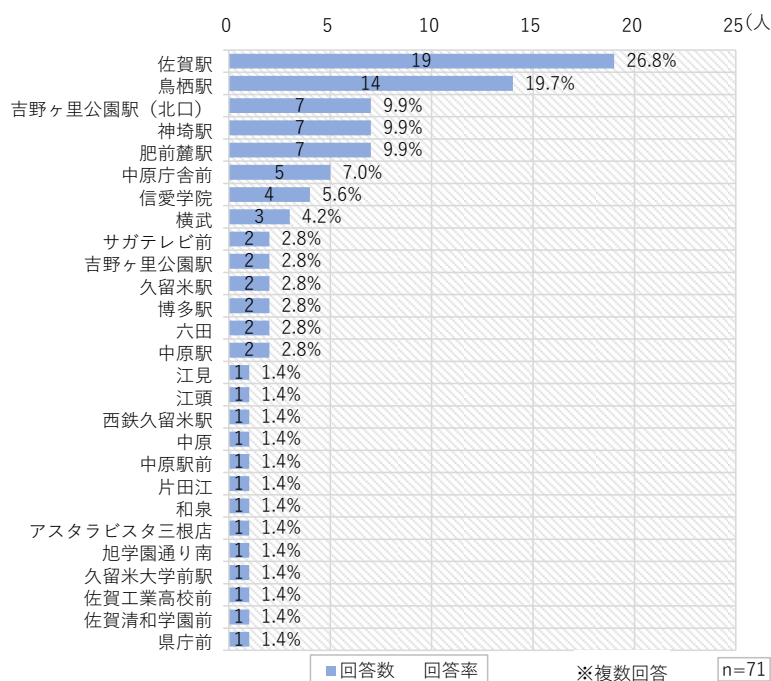


図 2-12 高校生の登校時の降車駅・バス停（雨天時）

D) 下校時の移動手段（雨天時）

雨天時の下校手段について、「家族の送迎」が 66.2%と最も多く、次いで「JR（48.2%）」、「自転車（38.1%）」が続く。通学支援バスは 20.1%と 5 番目、路線バスは 19.4%と 6 番目という結果になった。

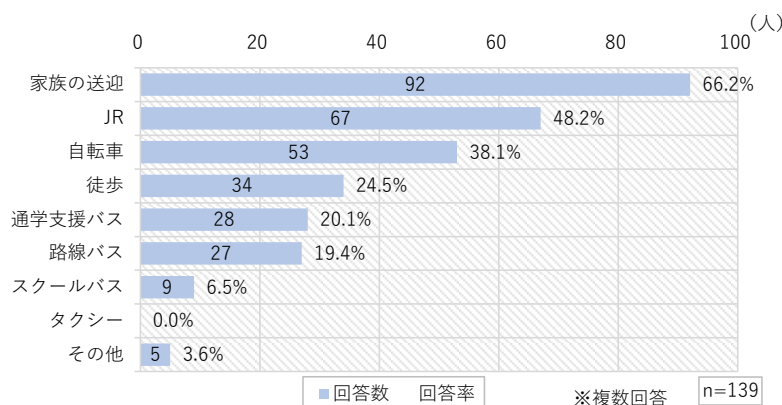


図 2-13 高校生の下校手段（雨天時）

③ 家族の送迎について

A) 送迎の頻度

登校時に家族に送迎してもらう頻度について、「雨の日のみ」送迎してもらう人は29.5%と最も多く、次いで「通学時は毎日」送迎してもらう人が21.6%、「週に3～4日」送迎してもらう人が11.5%との結果になった。

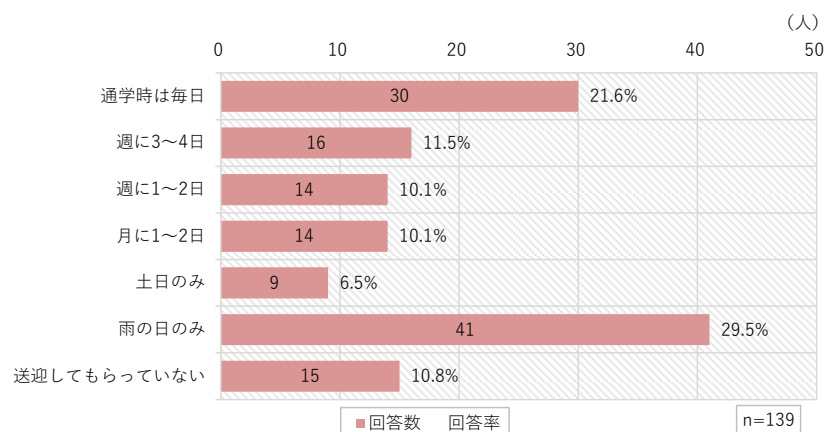


図 2-14 高校生の送迎の頻度

B) 送迎の区間

登校時に家族に送迎してもらう区間について、「自宅から学校」までが40.3%と最も多く、次いで「自宅から最寄りのJR駅」までが38.7%と僅差の結果となった。

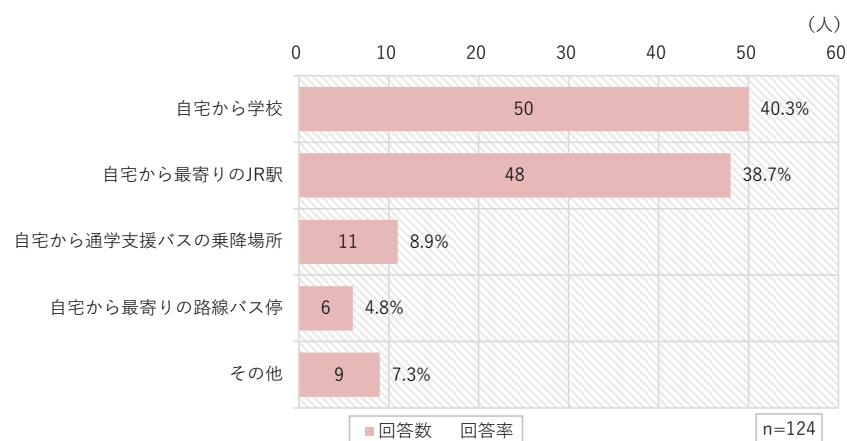


図 2-15 高校生の送迎してもらう区間

C) 送迎できない場合の移動手段

登校時に家族が送迎出来ない場合、自転車で登校する人が 55.6%と最も多く、次いで JR (27.4%)、路線バスと通学支援バス (共に 20.2%) という結果になった。

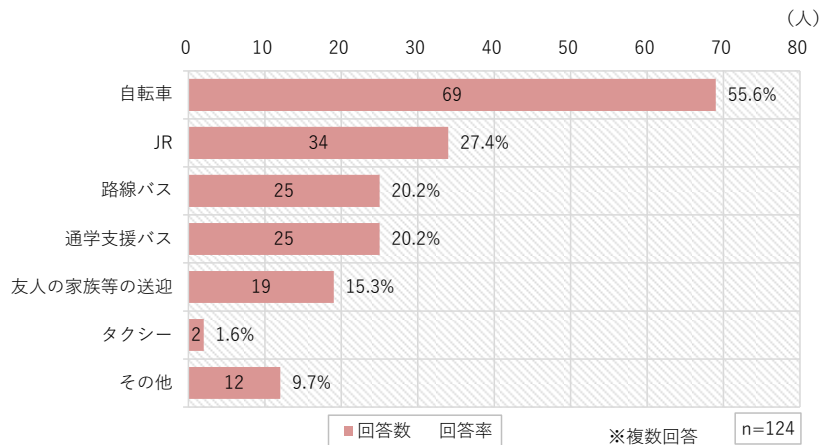


図 2-16 送迎できない場合の移動手段

D) 送迎理由

登校時に家族が送迎してもらう理由として、「雨天だから」が最も多く 57.3%を占め、次いで「部活などの荷物が多いから (26.6%)」、「遅刻しそうな場合など、時間に余裕のない時 (20.2%)」が続く。

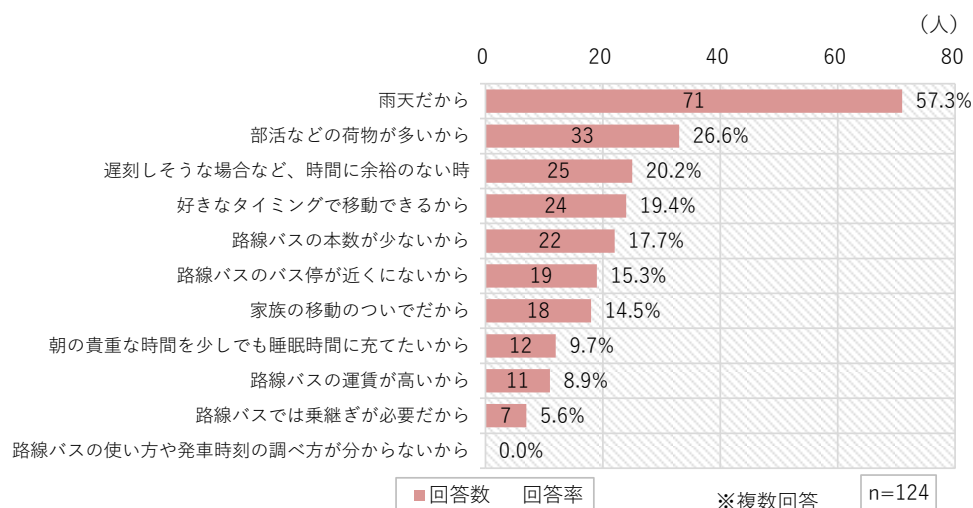


図 2-17 送迎してもらう理由

E) 送迎してもらう上での問題点

家族が送迎してもらう上での問題点として、「家族が仕事で送迎できないことがある」が最も多く 48.4%を占め、次いで「家族の時間的負担になっていると感じる(42.7%)」が続く。

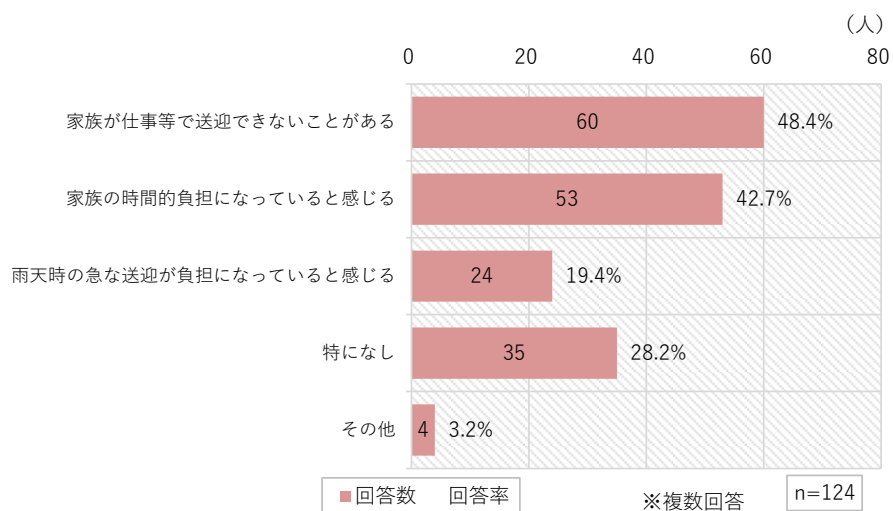


図 2-18 送迎してもらう上での問題点

④ 家・学校の出発時刻

A) 家を出発する時刻

登校時に家を出発する時刻について、「7 時台」が 51.1%と最も多く、次いで「6 時台」が 42.4%と続く。

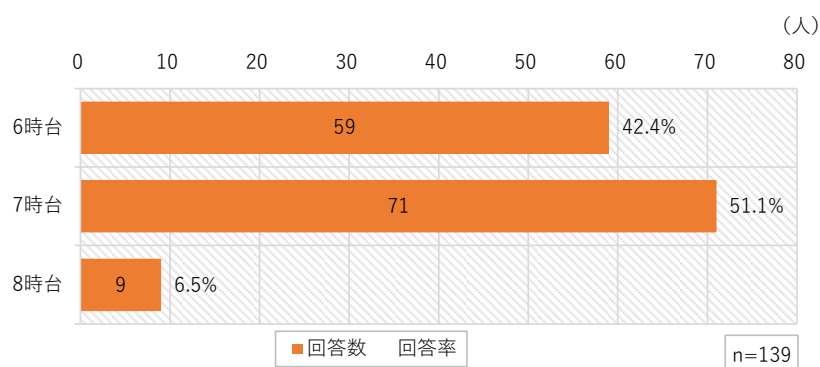


図 2-19 登校時に家を出発する時刻

B) 学校を出発する時刻

下校時に学校を出発する時刻について、「19 時台」が 31.7%と最も多く、次いで「16 時台」が 24.5%と続く。

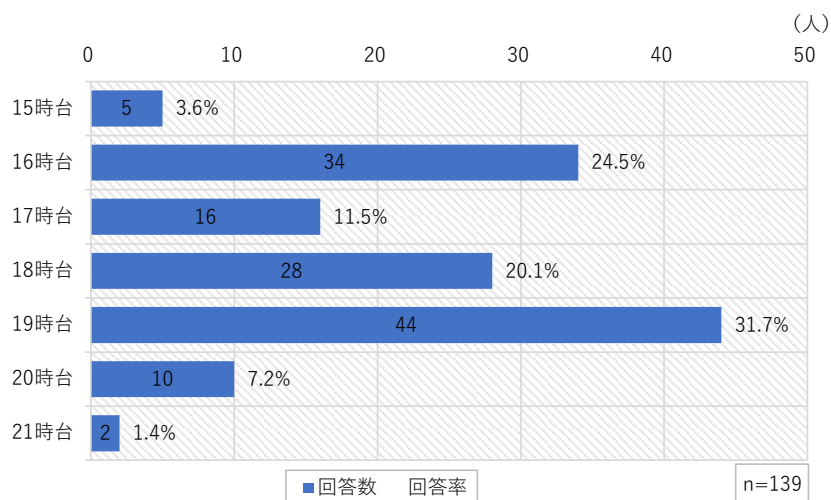


図 2-20 下校時に学校を出発する時刻

C) 公共交通の改善点

高校生が考える公共交通の改善点について、「運行本数が少ない」が 54.7%と最も多く、次いで「乗りたい時間に運行されていない (31.7%)」、「バス停 (乗り場) が遠い (19.4%)」が続く。

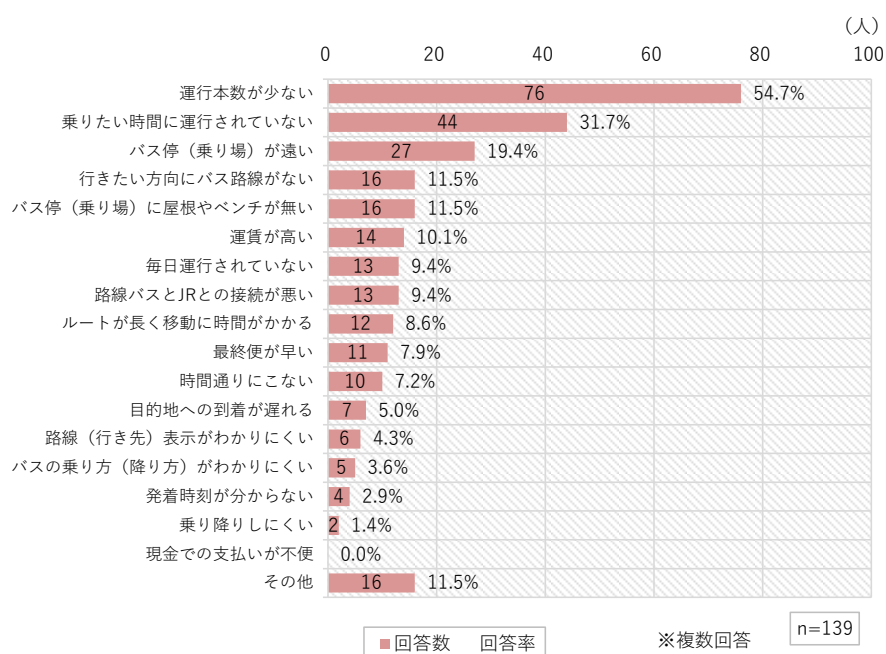


図 2-21 公共交通の改善点

D) 通学以外での公共交通の利用頻度

高校生が通学以外で公共交通を利用する頻度について、「月に 1 回以上」が 35.0%と最も多く、次いで「月に 1 回程度 (23.7%)」、「使わない (23.0%)」が続く結果となり、高校生が利用する頻度は低い傾向が見られる。

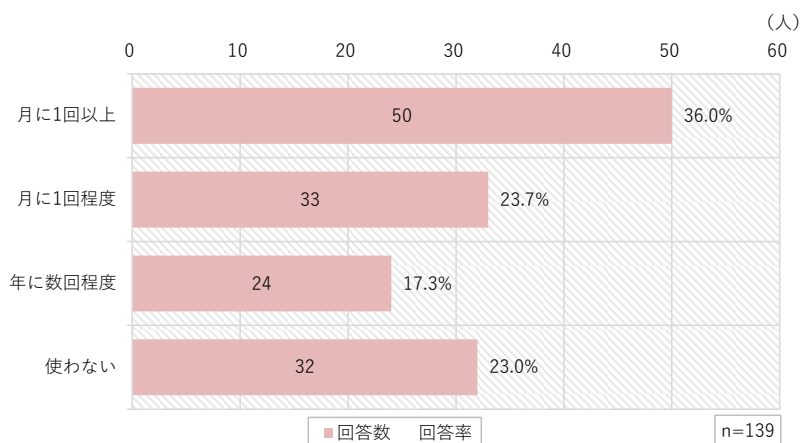


図 2-22 通学以外での公共交通の利用頻度

(2) 放課後の活動について

A) 放課後に立ち寄る場所の有無

高校生が放課後に立ち寄る場所があるかとの問いに、「ある」と回答した高校生が 47.5% に対し、「ない」と回答した高校生が 52.5% と僅差で多い結果となった。

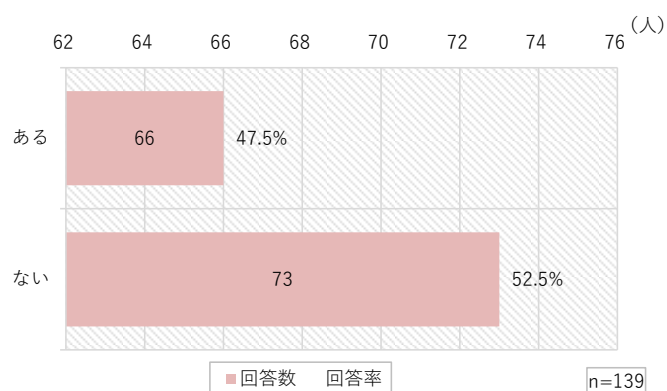


図 2-23 放課後立ち寄る場所の有無

B) 放課後の立ち寄り先

放課後に立ち寄る場所として、「コンビニ」が 51.5% と最も多く、次いで「学習塾 (12.1%)」、「公共施設」及び「ファーストフード等の飲食店」(共に 7.6%) が続く。

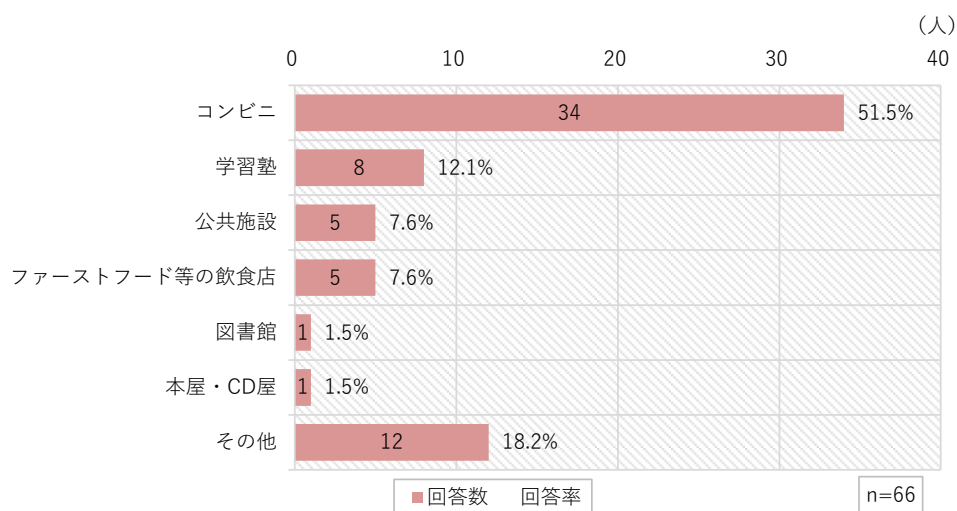


図 2-24 放課後立ち寄る場所の立ち寄り先

C) 立ち寄り先までの移動手段

放課後の立ち寄り先までの移動手段として、「徒歩」が 43.9%と最も多く、次いで「自転車（37.9%）」が僅差で続く。

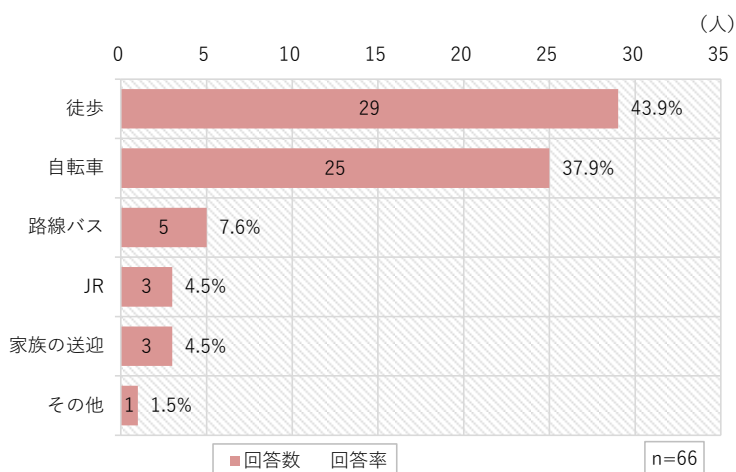


図 2-25 放課後の立ち寄り先までの移動手段

(3) 休日の外出について

A) 休日の外出先

高校生の休日の外出先として、「佐賀市内」が 39.6%と最も多く、次いで「久留米市内（19.4%）」、「鳥栖市内（15.8%）」が続く。「みやき町内の娯楽施設」と回答した人は 8.6%に留まった。

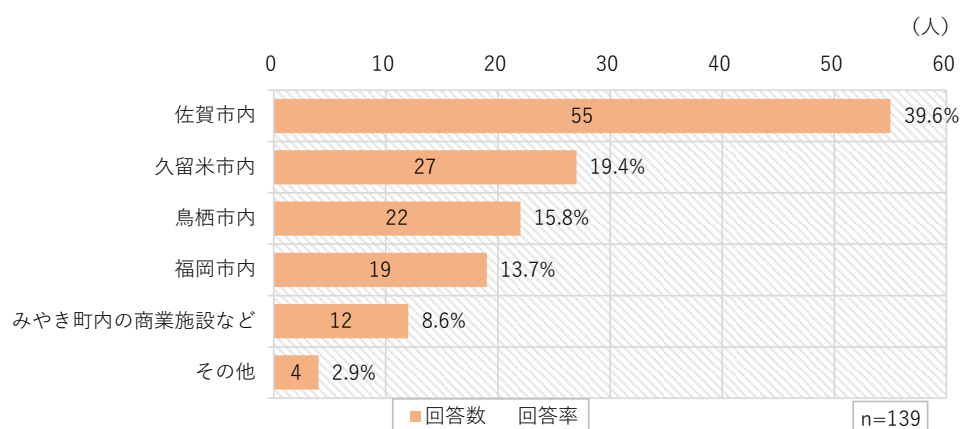


図 2-26 高校生の休日の外出先

B) 休日の外出時の移動手段

休日の外出時の移動手段として、「JR」が 52.5%と最も多く、次いで「家族の送迎（41.7%）」、「自転車（28.1%）」が続く。

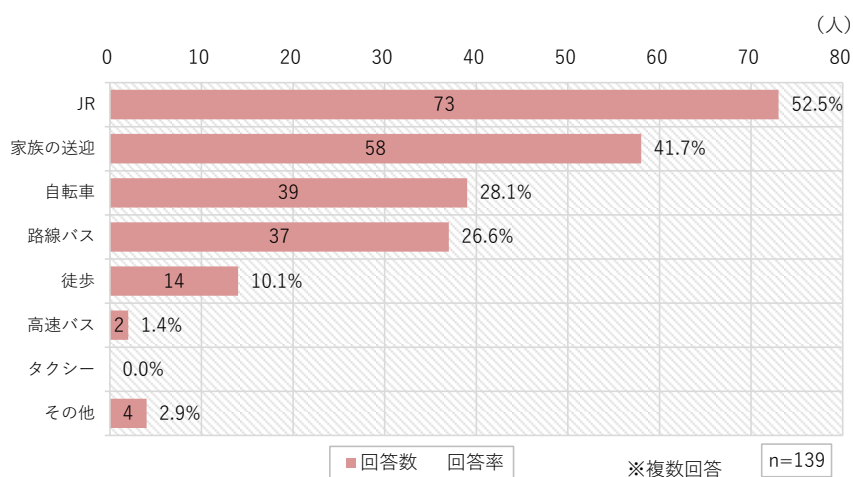


図 2-27 高校生の休日の移動手段

C) 休日の外出時に公共交通を利用しない理由

高校生が休日の外出時に公共交通を利用しない理由として、「他の移動手段があるから」が 46.5%と最も多く、次いで「休日にあまり外出しないから（25.6%）」、「金選的な余裕がないから（14.0%）」が続く。

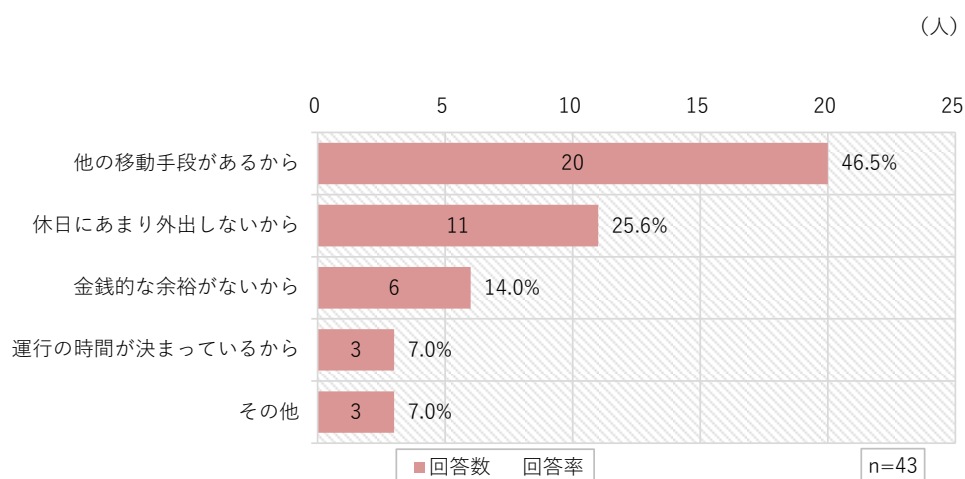


図 2-28 休日に公共交通を利用しない理由

第3章 コミュニティバス乗込み調査の結果

3-1. 調査の概要

みやき町のコミュニティバス5路線に調査員が乗込み、バス利用者の『属性（性別、年齢等）』、『利用実態（乗車・降車バス停、利用頻度、利用目的等）』、『今後の利用意向（現在の利用に関する問題、こういう利用をしたいというニーズ、行きたい目的地等）』について、聞き取りによるアンケート調査を実施した。

表 3-1 コミュニティバス乗込み調査の概要

調査実施日	令和4年9月7日（水）、9月8日（木）（平日2日間）
調査対象	みやき町コミュニティバス（みやき中央線、三根東線、中原線、三根西線、北茂安線）の利用者
調査実施方法	調査員による直接聞き取り調査
回収数	60票
調査票	

3-2. 調査結果のまとめ

(1) 調査日の利用状況

① 利用者数

乗り込み調査日における路線別及び乗降車別利用者数、便別利用者数、バス停別利用者数は以下の通りとなった。

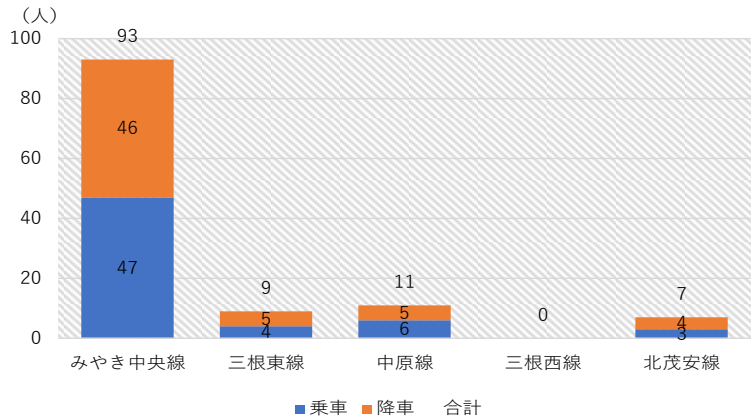


図 3-1 調査日における路線別利用者数の内訳

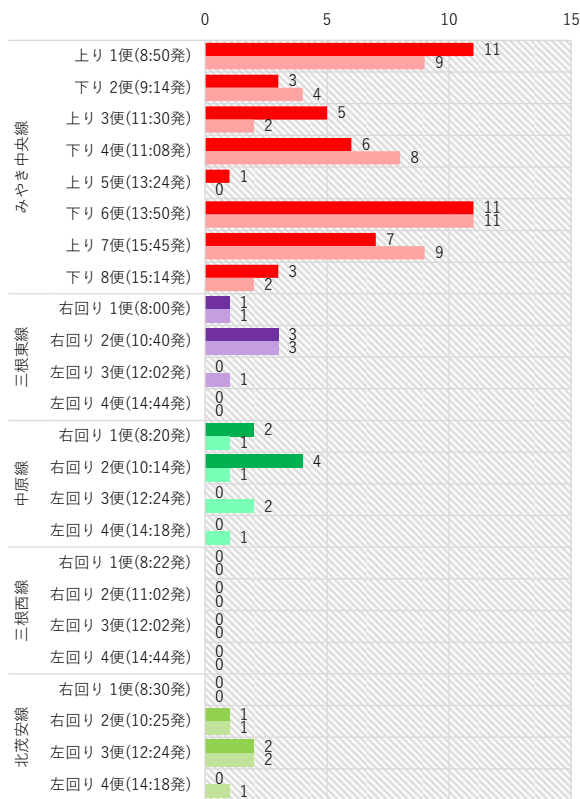


図 3-2 調査日における便別利用者数の内訳

路線	バス停名	乗車	降車
みやき中央線	B & G 海洋センター	6	6
	東中原	5	7
	西島	3	0
	東寒水団地前	3	4
	アスタラビスタ三根店	3	2
	国立東佐賀病院前	3	3
	国立東佐賀病院入口	3	1
	コメリみやき店北	2	0
	東分	2	1
	道瀬橋	2	0
	江口	2	1
	中原庁舎前	2	1
	姫方原団地前	2	1
	ミスターマックス北茂安店	1	0
	板部	1	3
	コミュニティセンター	1	1
	大電前	1	0
	斎藤整形外科	1	1
	山ノ内	1	0
	東寒水	1	1
トライアルみやき店	1	3	
ザンキみやき店	1	5	
三根東線	大島病院	0	1
	三根庁舎前	0	1
	中原	0	1
	本分	0	2
三根東線	納江	2	2
	斎藤整形外科	2	1
	アスタラビスタ三根店	0	2
中原線	山田橋	3	3
	東寒水	1	0
	西寒水公民館	1	0
	北浦団地	1	1
北茂安線	中原庁舎前	0	1
	B & G 海洋センター	2	1
	笹野団地	1	0
	笹野公民館	0	1
	豆津公民館	0	1
	コメリみやき店北	0	1

図 3-3 調査日におけるバス停別利用者数の内訳

(2) 基本属性

調査日におけるコミュニティバス利用者のうち、「80歳～」の利用者が最も多く、その大半が女性であった。次いで「65～74歳」の女性の利用が多い。

居住地区は中原地区が43%、北茂安地区が30%、三根地区が22%であった。

自動車運転免許証の有無について、利用者の2%のみ「免許あり（運転する）」であり、その以外の大多数が「免許あり（運転しない）」「免許なし」「免許なし（次週返納済み）」であった。

スマートフォンの利用状況について、スマートフォンを保有している人は54%と過半数を占め、主にGoogle Map等の地図アプリやLINE等のSNSアプリを取得している。

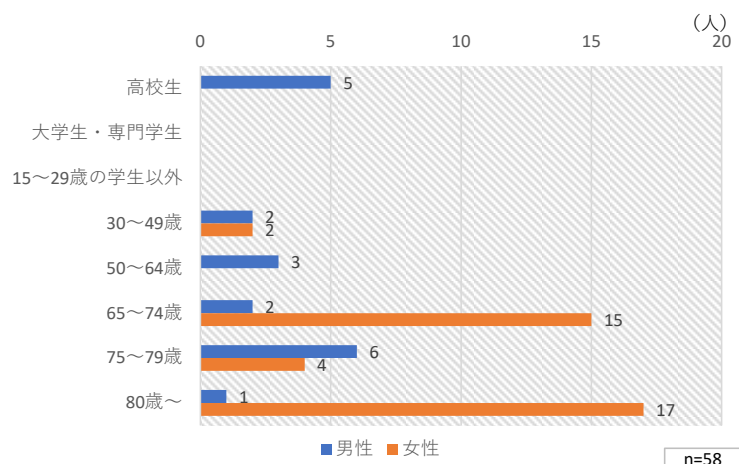


図 3-4 コミュニティバスの利用者の年齢・性別の内訳

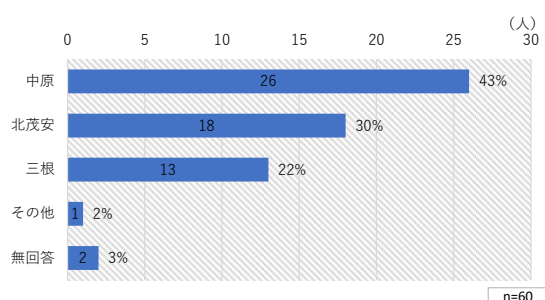


図 3-5 回答者の居住地区

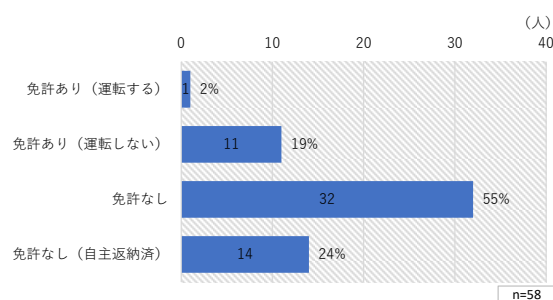


図 3-6 回答者の自動車運転免許証の有無

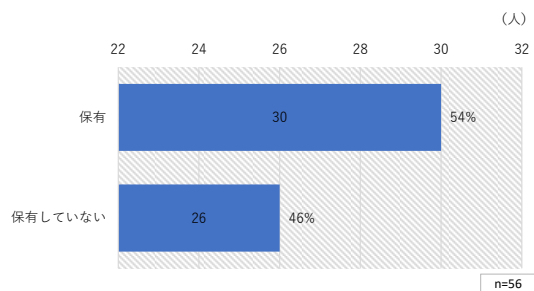


図 3-7 回答者のスマートフォンの有無

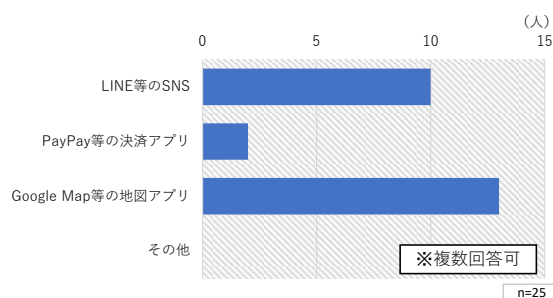


図 3-8 取得済みのスマホアプリの種類

(3) 利用状況

① 移動の目的

調査日の利用者がコミュニティバスを利用する目的として「買い物」が36%と最も多く、次いで「通院（26%）」、公共施設の利用（15%）」が続く。

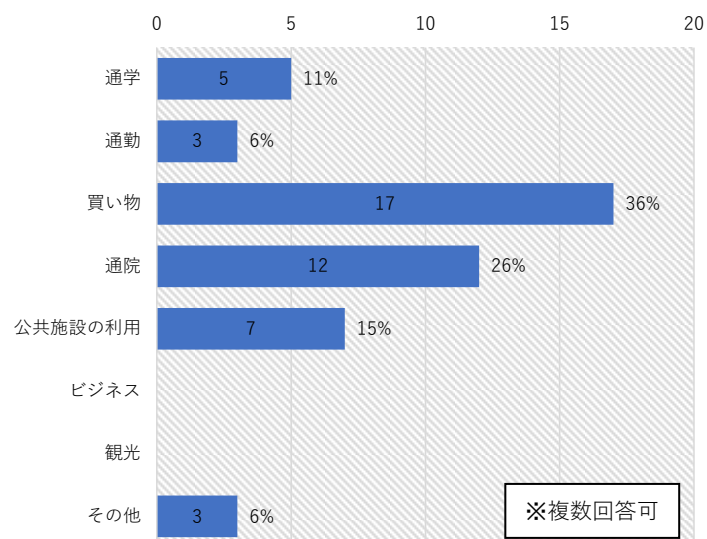


図 3-9 移動の目的

② 目的地での滞在時間

目的地での滞在時間は「60分～90分」が30%と最も多く、次いで120分以上が25%と続く。

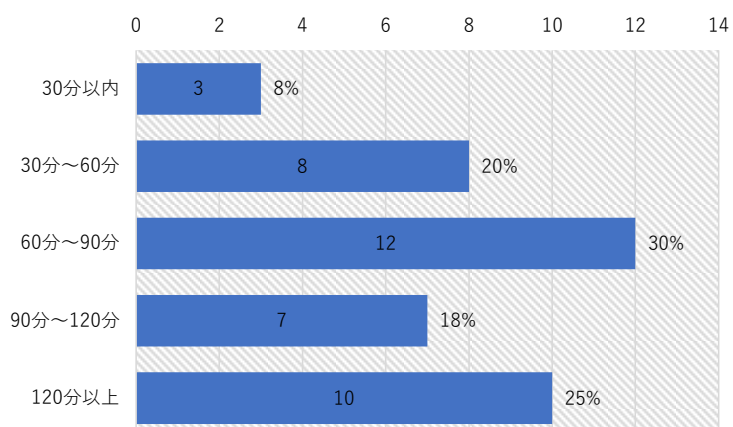


図 3-10 目的地での滞在時間

③ バス停まで及びバス停からの移動手段

バス停までの移動手段について、「徒歩」が93%と大半を占める。

またバス停を降りてから目的地までの移動手段についても「徒歩」が92%と同様の結果になった。

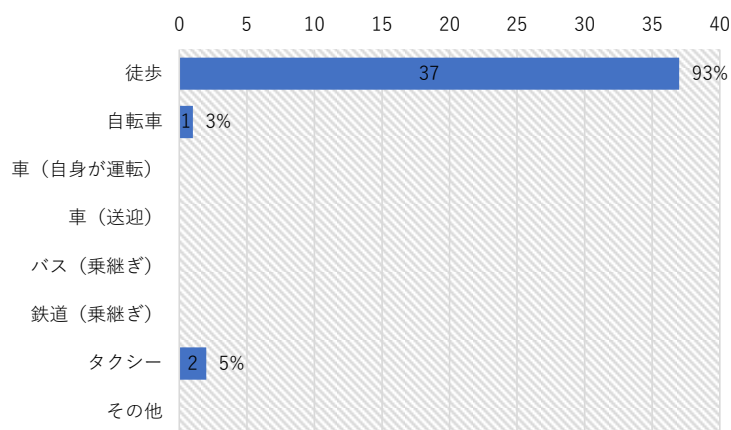


図 3-11 バス停までの移動手段

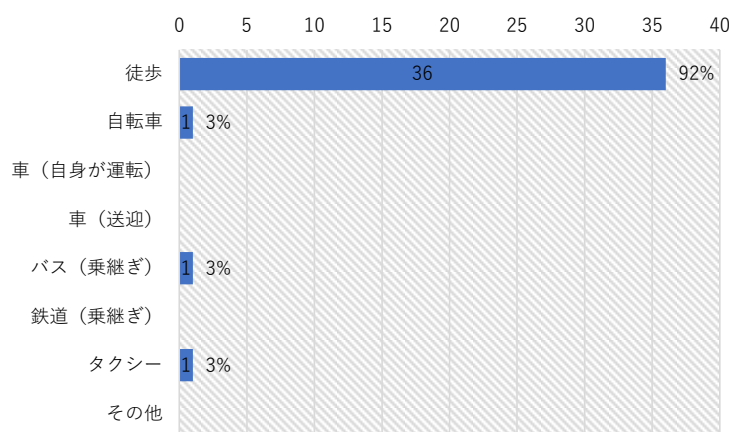


図 3-12 バス停から目的地までの移動手段

④ バス停までの移動時間

バス停までの移動時間について、「5分以内」が58%と最も多く、「5～10分」が33%であり、「20分以上」と回答した人は0であった。

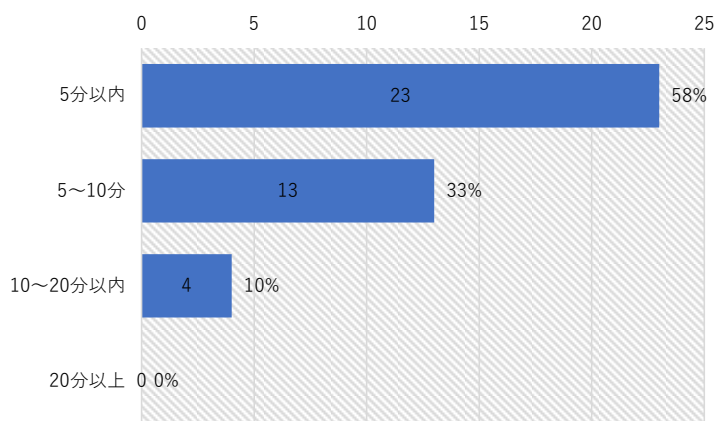


図 3-13 バス停までの移動時間

⑤ コミュニティバスの利用頻度

コミュニティバスの利用頻度について、「週1～2日」が37%と最も多く、「週3～4」が24%であり、「週5日以上」が18%と比較的利用頻度が高い傾向が窺える。

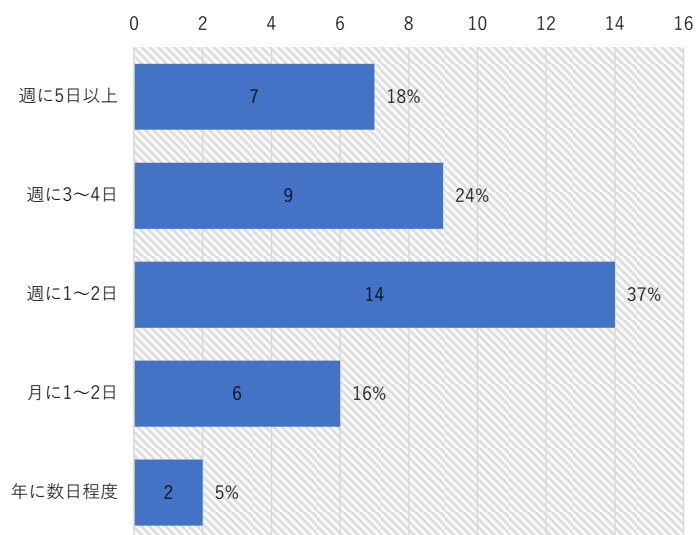


図 3-14 コミュニティバスの利用頻度

⑥ 利用にあたっての不満点

利用にあたっての不満点について、「特に無し」が62%と最も多く、「ダイヤが合わない」が16%との結果であった。その他の意見としては、「土曜日・日曜日の便が欲しい」、「本数を増やしてほしい」、「バス停にベンチがない」などが挙げられた。

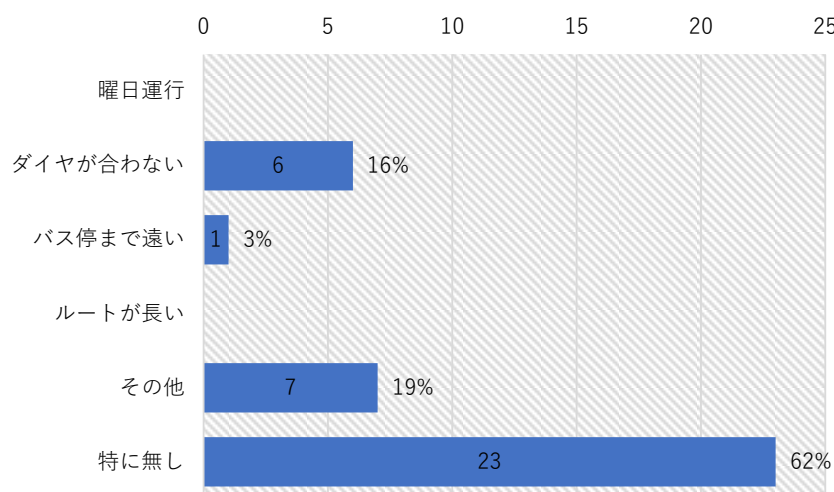


図 3-15 利用にあたっての不満点

⑦ 利用にあたっての要望

利用にあたっての要望について、「特に無し」が62%と最も多く、その他「増便してほしい」との声が多数挙げられ、「ステップが少し高いので低くしてほしい」、「ダイヤの変更」、「バス停を増やしてほしい」等が挙げられた。

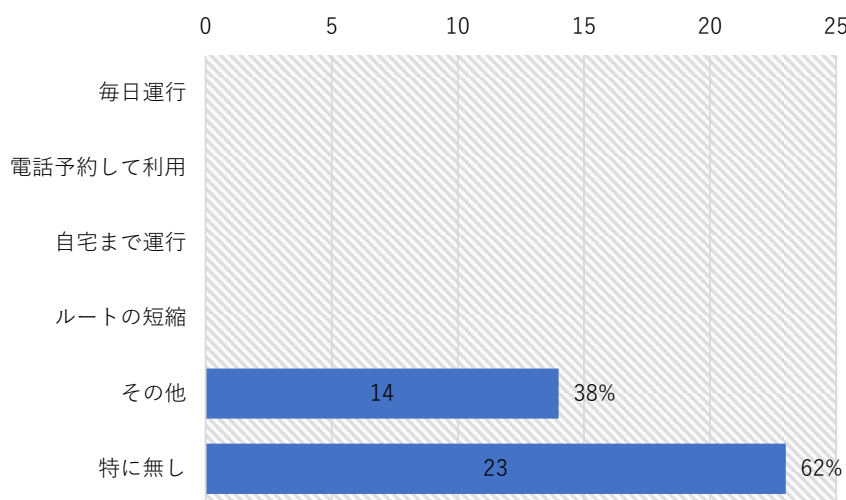


図 3-16 利用にあたっての要望

第4章 事業者ヒアリング調査の結果

4-1. 調査の概要

みやき町の公共交通に関する課題を詳細に把握していると考えられる交通事業者に対してヒアリング調査を実施した。

表 4-1 事業者ヒアリング調査の概要

調査実施日	令和4年10月18日（火）
調査対象	・株式会社鳥栖構内タクシー ・吉野ヶ里観光タクシー有限公司

4-2. ヒアリング調査の内容

ヒアリング結果を事業者ごとに以下に示す。

みやき町地域公共交通計画策定調査業務に係る交通事業者ヒアリング

交通事業者ヒアリング調査 調査票

※以下、関係する資料・データ等がございましたら
ご提供いただきますようお願いいたします。

みやき町における地域公共交通計画の策定にあたって、町内の移動を担う公共交通の運行状況や利用状況についてのヒアリング調査を行っています。貴社の現況と課題についてお尋ねします。

(1) 調査対象者について

事業者名	（株）鳥栖構内タクシー	役職・所属等 ご氏名	総務課長 天野 善博様 営業課長 轟 明美様
------	-------------	---------------	---------------------------

(2) 営業所および待機場所の所在地について

・営業所や待機場所（スペース）についてご教示ください

営業所	みやき町市武 1322-1
待機場所	みやき営業所（上記）、東佐賀病院、東尾（佐賀銀行北茂安支店の西側）

(3) 事業者の保有車両について

年度	実働車両数/実在車両数（年間延べ）				普通二種 運転者数	大型二種 運転者数	オペレータ 人数
	特定大型	大型	普通	その他			
R3 年	389/1460	0/0	10004/15695	117/365			
R2 年	323/1464	0/0	10226/16470	86/365			
R 元年	697/1460	0/0	13911/16790	57/365			

普通車 40 （普通 5 台）特定大型 4 台 福祉 1 台 マイクロ 5 台

乗務員 みやき町乗用 6 人 乗合 2 人（有給時に鳥栖地区運転士が入る）

専任オペレーター 専任 8 人（運行管理者も入る）計 12 名になる

(4) 運行管理等について

・運行管理者等の人数についてご教示ください

運行管理者の 人数	8 人	うち、「乗用」と「乗合」が別の時の免許	2 人
		両方統一した「旅客」免許（2006 年以降）	4 人

(5) 輸送実績・収支の推移について

年度	実車 走行キロ	実車率	輸送人員 （人）	営業収益 （千円）	営業費用 （千円）
R3 年	518,402		218,207	217,618	
R2 年	528,695		223,619	217,501	
R 元年	879,189		363,704	318,242	

(6) コミュニティバスについて

①コミュニティバスの運行状況についてご教示ください。

路線図参照

②コミュニティバスの利用状況について

(利用者の特性、時間帯別の利用者数・利用者特性の変化、利用者の多いバス停などについて)

利用データのグラフ等参照

③コミュニティバスの運行上の問題点や悩みなどについて

特に大きな悩みは無い。

電波時計で運行しているが、乗客の時計が合っていないくて、苦情があったことがある。

動態管理(バスロケーションシステム)で管理できればありがたい。

国からの助成でタクシー配車システムを入れ替えた。乗用のみが補助対象であった。

三根西線、緑ノ木の交差点の U ターンが問題である。廃院となり、病院の駐車場に乗り入れられない。

通りづらい経路は無い。

大きな遅れは無いようである。早発防止にはなっている。

中原地区の交通事情で渋滞にはまることはまれにある。

平川医院の中が、駐車場の車があると転回がきつい。中に入りたくないというドライバーから要望がある。

ドライバーによると、経路によって、休憩時間にムラがある。

(7) タクシーの利用実態について

・現在の利用状況・利用者について、分かる範囲でお聞かせください。

①利用状況の推移について(可能であれば校区別に)

ビジネス利用がある程度

②タクシー助成券の利用状況について【性別・年齢層・利用目的(通院や買い物等)等】について

(可能であれば校区別に)

感覚的には、売上ベースで3割増えている。

町外の長門石やもりやま整形外科への利用が多い。

北茂安の利用が多い。

通院→店舗→帰宅の流れの利用が多い。

高齢者の利用が多い。

現状は緩やかに登録者が増えている状況(町)

必ずしも長い距離の利用がいいわけではない(戻りに時間がかかる)。

長い場合、30分ほど待ってもらっている状況がある(特に午前中)。

時間制約がある方は予約を前もって入れている。9割方希望時刻の予約で運行できている。

平日はおおよそ4割程度が助成券利用。60枚以上の日もあるし、10枚程度の日もある。

③時間帯別の利用者数・利用者特性の変化について（可能であれば校区別に）
タクシー助成の利用データ等参照

④利用者の多い地域について
タクシー助成の利用データ等参照

（８）デマンド型乗合タクシーについて

①デマンド型乗合タクシーの受託意向についてご教示ください。
金額次第では対応は可能。
上峰町のデマンド委託は予算面で課題があり人員と車両を配置すると利益が出ないレベルであった。
予約システム自体は問題ないが、利益が出るか次第での検討になると考えられる。

2.5万円～3万円程度/日の売上見込みが必要か。

②デマンド型乗合タクシーの業務実績について
佐賀空港リムジンタクシーの実績あり
補助金 6,500 円 運賃 3,000 円 運転士の運送収入として挙げている。
（通常のメーター運賃では、みやき町～佐賀空港は 12,000 円程度になるので嫌がる方はいる）

③デマンド型乗合タクシーについてのご意見等
烏栖で 1 人、みやきで 2 人、乗合専任で雇用している。（固定給）
安定収入をとるか、歩合制でのタクシー収入をとるか、という選択（組合せも考えられるか）。

(9) 運行の課題・経営上の悩み等について

- ・持続的な公共交通体系の構築に向けて、現在抱えている課題・悩みや今後の取組等について、お聞かせください

①現在抱えている課題・悩みなどについて

(経営状況、運転士の確保、他の交通手段との競合など)

運転士の年齢は、5年以内で3割くらいが75歳を超える。

新規採用の活動中で、手当を増設するなどしているがなかなか集まらない。

平均年齢は65歳くらい。

60歳で定年となるが、それ以降は1年ごとの更新制での契約社員。

今月5名新規採用があった(うち、1名は27歳女性ドライバー)ため、当面は問題ない。

自動車学校の教官をやめて運転士になる例がある。

10名乗りでも大型・中型二種免許保有者に運転させている。

独自の教育を実施している。

②新型コロナウイルス感染症による運行の影響及び今後について

3~4割減(夜間)

夜の利用(企業の飲み会など)がほとんどなくなった。

インバウンドでの利用も無くなった。

日勤中心のシフトにしている。

③自治体の公共交通施策等について(コミュニティバス、デマンド交通の運行など)

鳥栖市ミニバスとみやき町コミバス、佐賀空港リムジンタクシーを受託。

佐賀県は免許返納者に対して、タクシー2割引の制度がある。さらに唐津市では1割足して3割補助の取組みがある。

新たなコストがかからないので、タクシー助成については協力しやすい。

④新技術や新制度(AI運行・相乗り・貨客混載・飲食店連携など)の新規取組意向

タクシー相乗りのハードルは高い(アプリが必要)。

宅配タクシーはやっていたが、貨物輸送の特例が終わり、貨物輸送の免許が必要と言われたため、やめた。

おつかいタクシー、薬を取りに行くサービスなどは行っている(月に数件程度の利用)。

みやき町地域公共交通計画策定調査業務に係る交通事業者ヒアリング

交通事業者ヒアリング調査 調査票

※以下、関係する資料・データ等がございましたら
ご提供いただきますようお願いいたします。

みやき町における地域公共交通計画の策定にあたって、町内の移動を担う公共交通の運行状況や利用状況についてのヒアリング調査を行っています。貴社の現況と課題についてお尋ねします。

(1) 調査対象者について

事業者名	吉野ヶ里観光タクシー㈱	役職・所属等 ご氏名	吉野社長 塚本氏
------	-------------	---------------	-------------

(2) 営業所および待機場所の所在地について

・営業所や待機場所（スペース）についてご教示ください

営業所	
待機場所	中原駅 1 台、東佐賀病院 2 台

(3) 事業者の保有車両について

年度	実働車両数/実在車両数				普通二種 運転者数	大型二種 運転者数	オペレータ 人数
	特定大型	大型	普通	その他			
R3 年	/	4 台	17 台	/			
R2 年	/	/	/	/			
R 元年	/	/	/	/			

(4) 運行管理等について

・運行管理者等の人数についてご教示ください

運行管理者の 人数	人	うち、「乗用」と「乗合」が別の時の免許	人
		両方統一した「旅客」免許（2006 年以降）	人

(5) 輸送実績・収支の推移について

年度	実車 走行キロ	実車率	輸送人員 (人)	営業収益 (千円)	営業費用 (千円)
R3 年					
R2 年					
R 元年					

(6) タクシーの利用実態について

・現在の利用状況・利用者について、分かる範囲でお聞かせください。

①利用状況の推移について（可能であれば校区别に）

タクシー助成の利用データ等参照

②タクシー助成券の利用状況について【性別・年齢層・利用目的（通院や買い物等）等】について
（可能であれば校区别に） ※「ひまわりタクシー」という名称で運行

900枚/月 程度の利用で、新規の方が増えている（外出機会の増加）ようである。

鳥栖構内タクシーとほぼ半々程度の利用という実感である。

せっかくなので力を入れてやっていきたいと思います、鳥栖構内タクシーとは話をしている。

③時間帯別の利用者数・利用者特性の変化について（可能であれば校区别に）

タクシー助成の利用データ等参照

④利用者の多い地域について

タクシー助成の利用データ等参照

(7) デマンド型乗合タクシーについて

①デマンド型乗合タクシーの受託意向についてご教示ください。

自治体の想い（住民ニーズ＝予算の計上）があれば、協力することは可能。

上峰町のデマンド交通は特定大型で運行している。

ひまわりタクシーの利用状況をみると、みやき町はデマンドが望まれているのではと考える。

高齢化しても安心して住めるまちづくりを町と共に実施できたらと思っている。

住民のニーズがあるのであれば、自治体間相互乗り入れは望ましいのではないかと。

②デマンド型乗合タクシーの業務実績について

吉野ヶ里町、上峰町、佐賀空港リムジンタクシー

③デマンド型乗合タクシーについてのご意見等

吉野ヶ里では乗車漏れの無いよう、予約があって待ち客がいなかった場合、家に訪問するなどして更に5分程度待ってから出発するようにしている。

運転士の名前で利用者から予約を受ける（呼ばれる）ようにすることが重要だと思う。

吉野ヶ里ではデマンドのシステムを導入して、全面的なデマンド化を行う予定である。

利用者に通常のタクシーとの違いを理解してもらう必要がある。

昼食休憩時間については、2台同時にサービスをしない時間帯を作らずに、1台は運行させる

上峰町はドライバーに頑張ってもらえるよう、自社の取組として月100人利用者が越えたら大入り袋を出している。

(8) 運行の課題・経営上の悩み等について

- ・持続的な公共交通体系の構築に向けて、現在抱えている課題・悩みや今後の取組等について、お聞かせください

①現在抱えている課題・悩みなどについて

(経営状況、運転士の確保、他の交通手段との競合など)

乗務員は22名。高齢のドライバーと若い方の二極化になっている。

ここ2年半くらいは現状維持していた(減っていない)。

コロナ終息後は2~3名増員する方向(吉野ヶ里のデマンド対応も含めて)。

オペレーターも増やす必要があるだろう。

ドライバーの確保は不可能ではない(売り上げが県内では多い方)。

上峰町は80名/月程度で上手くいっているようである。

②新型コロナウイルス感染症による運行の影響及び今後について

③自治体の公共交通施策等について(コミュニティバス、デマンド交通の運行など)

他自治体の事例を参考に進めてほしい。

大牟田市ではタクシー全社でやろうということ、個人タクシーも巻き込んで、シャトルバス施策について意見を申し上げているところ。

利用者にどう売り込むかが重要である。

ゆるキャラの活用なども面白いのではと思っている。

交通広告、とくに車体ラッピング広告などはコミュニティバスでも実施されているところはある。

タクシーの売り上げは落ち込むが、デマンドと組み合わせてトータルで経営が成り立つように思っている。そうすると会社としては安定した収入の確保が可能。(ドライバーの収入は別である)

安心して住めるようなまちづくりに交通事業者として協力したい。

地域密着でタクシーサービスはやっていくべきであると思っている。

乗ってよかったと思ってもらいたい。東京などの都市部では時代遅れのサービスになり、過疎地からタクシーの接遇レベルや新しいサービスは生まれていると思っている。

④新技術や新制度(AI運行・相乗り・貨客混載・飲食店連携など)の新規取組 意向

買い物代行など便利屋タクシーは、デマンドシステムがあれば楽だと思っている。

企業との連携で収益を確保できないかと思っている。

佐賀空港リムジンは県と事業者で営業に回った。認知が増えて利用が増えた。ビジネスユースを狙って企業に行くにしても、自治体と連携して営業活動することが重要だと思っている。

ドライバーにタクシー助成制度の宣伝をさせることも重要。

地域の発展には、地域の足が何より重要であると思っている。

第5章 第2層協議体との意見交換会の結果

5-1. 意見交換会の概要

みやき町の交通空白地での移動実態や公共交通利用の実態やニーズ、今後の公共交通の方向性等に関する意見を把握するため、意見交換会を実施した。

表 5-1 意見交換会の概要

調査実施日	令和4年12月9日（金）、12月20日（火）、12月21日（水）
対象	中原・北茂安・三根の第2層協働体 中原校区 「風のまちなかばる 協議の場」 北茂安校区「よっていかんね北茂安 協議の場」 三根校区 「よかよか三根 協議の場」

5-2. 意見交換の内容

それぞれの意見交換会で頂いた意見を以下にまとめた。

① コミュニティバスについて

地区名	意見のまとめ
中原地区	・コミュニティバスをよく利用している。初めころは山田や北浦団地に用事で行っていたが、帰りの便がないという状況であった。今はボランティアセンターやこすもす館に行く時に使うが、帰りは徒歩の場合が多い。免許は持っていない。長崎出身で免許は取らなかったが、佐賀では車の免許は必須の様である。 ・免許返納してすぐにコミバスに乗れるか？について、（コミュニティバスに乗る場合は）帰りの時刻を事前に下調べして乗っている。メモしておいて、帰りは時間がある場合は、暇つぶしして待って帰っている。基本的にはバスの時刻に合わせて行動している。 ・免許を持っている方は乗っていないのではないかな。 ・以前よりコミュニティバスの利用が増えているのではと感じる。その中で、押し車のおじいさんが、押し車を抱えて降りるのが大変そうであった。近くの方が手伝いをしていたが、何か事故にでもなったらどうするのかと思った。 ・行先を言って乗るのだが、バス停の案内が無い。通過しそうになったこともある。ここで降りると慌てて言った。運転士が覚えていたらいいがそうもいかない場合もある。アナウンスがあれば安心である。 ・3月の確定申告の際に役場から乗車した。その際他の利用者はいなかった。もったいないと思った。 ・免許返納していざコミュニティバスを利用しようと思っても、すぐには乗れないということは同意である。下調べがいると思う。全戸配布の時刻表が以前あったが、見方が分からない、細かい字に抵抗があるという方もいる。バスに乗る際に、どこからどう乗って、帰りはこう乗たらうまいくという相談ができるような窓口があればいいと思った。 ・マイ時刻表（個人の時刻表を作ってくれるマイ時刻表サービス）は喜ばれると思う。 ・時刻表が配布された際は、隅々まで見て、一生懸命見方を勉強した。 ・養原地区も毎日運行されていれば助かる。乗りたい日にバス停で待っていたら運行日でなく、来なかったことがある。 ・コミュニティバスの利用率が少なければ町はコミュニティバスをやめるのか、続けるのか。今は家族にらせてもらっている。お互いに協力して移動している。利用者のニーズへの対応はどう考えているか。 ・コミュニティバスだけでなく、様々な取り組みを行ってほしい。利用者がその選択肢から選べるようになるとうありがたい。 ・コミュニティバスで不足する分をタクシー助成や買い物支援、移動販売などで補完しているが、町民の方はそれらをしっかり理解してもらえたらと思うが、十分に情報が届いていないのではないかな。買い物支援は実質7人くらいである。もっと増えると思っていたが、実際のところそこまでは困っていないのかなと思う。買い物支援でさえ7人なので、町が色々なニーズに対応するためには様々な施策を準備しておかないといけなくなる。財源も限られておりそれは大変である。乗合タクシーならある程度全てのニーズを満たせるのではないかな。毎日運行は難しくても、ある程度町民の希望に添える形だと思っている。いきなり利用が増えることはないと思うが、ニーズに対して応えることで少しでも利用が増えるのではないかな。
三根地区	・コミバスの時刻表が見づらい。自分の利用したい区間だけの時刻表が欲しい。 ・車両ごとの時刻表があると、どこまで乗ってどこに行けるかが分かりやすい。 ・本数が少ないことが根本的な使いづらさである。 ・三根西線は行きはいいが、帰りの便が無い。路線バスの江見線も本数が少ない。それなら行きも帰りもタクシーとなる。特に帰りは買い物の荷物もあるので、タクシーの方が自宅まで行けるのでいい。タクシー助成なら自己負担が200円程度で済む

地区名	意見のまとめ
北茂安地区	・江口在住の区長である。江見線が運行されているが、西よりの地域は、通院が齊藤整形外科に行く方が多いが、移動手段がないと聞いている。コミュニティバスが通るとありがたい。以前相談したが、県道が出来ているので変更出来ないのか。江口以外にも荒巻なども便利になるのではないかな。 ・コミバスのバス停について、時刻表の字が小さく、破れていることもある。破れにくいきれいなものにしてほしい。古くて見づらい。(石貝団地バス停) ・コミュニティバスの利用状況は広報誌に掲載されているか。 ・コミュニティバスのバス停まで出てこれられない方もいる。80～90歳で運転している方も目にする。これから5年間の計画であれば、よりきめ細かな公共交通を考えてもらいたい。 →ひまわりタクシーでは午前中に利用が集中している状況である。1週間前から予約が可能で事前に予約すれば概ね予約可能な状態。その時に今すぐ乗りたいという状況での予約では難しいこともある。 ・高齢者の方にとっての都合のいい時間は「その時今」である。午前中に病院に行くならついでに買い物に行くというのが普通の行動パターンである。 ・仮に車に乗れなくなった場合、地区ごとにバスがぐるぐる回っていて、旗や手を上げたらいつでも乗れるとありがたい。

② 助成

地区名	意見のまとめ
中原地区	・タクシーは補助があっても料金が高くなるので、あまり利用していない。 ・買い物支援をやっている。週に1回実施している。最初は広く移動支援という話もあったが、まずは買い物支援だけに限定して始めた。ボランティアでかつ素人なので、色々な移動支援をするのは大変だと考えている。ゆくゆくは様々な移動支援も考えなければならないことは重々承知している。 ・買い物支援をしている中で、病院も行きたいという方もいた。しかし、現時点ではお断りしている。
三根地区	・コミバスの時刻表が見づらい。自分の利用したい区間だけの時刻表が欲しい。 ・車両ごとの時刻表があると、どこまで乗ってどこに行けるかが分かりやすい。 ・本数が少ないことが根本的な使いづらさである。 ・三根西線は行きはいいが、帰りの便が無い。路線バスの江見線も本数が少ない。それなら行きも帰りもタクシーとなる。特に帰りは買い物の荷物もあるので、タクシーの方が自宅まで行けるのでいい。タクシー助成なら自己負担が200円程度で済む
北茂安地区	・江口在住の区長である。江見線が運行されているが、西よりの地域は、通院が齊藤整形外科に行く方が多いが、移動手段がないと聞いている。コミュニティバスが通るとありがたい。以前相談したが、県道が出来ているので変更出来ないのか。江口以外にも荒巻なども便利になるのではないかな。 ・コミバスのバス停について、時刻表の字が小さく、破れていることもある。破れにくいきれいなものにしてほしい。古くて見づらい。(石貝団地バス停) ・コミュニティバスの利用状況は広報誌に掲載されているか。 ・コミュニティバスのバス停まで出てこれられない方もいる。80～90歳で運転している方も目にする。これから5年間の計画であれば、よりきめ細かな公共交通を考えてもらいたい。 →ひまわりタクシーでは午前中に利用が集中している状況である。1週間前から予約が可能で事前に予約すれば概ね予約可能な状態。その時に今すぐ乗りたいという状況での予約では難しいこともある。 ・高齢者の方にとっての都合のいい時間は「その時今」である。午前中に病院に行くならついでに買い物に行くというのが普通の行動パターンである。 ・仮に車に乗れなくなった場合、地区ごとにバスがぐるぐる回っていて、旗や手を上げたらいつでも乗れるとありがたい。

③ 買い物支援・ボランティア輸送

地区名	意見のまとめ
中原地区	< 買い物支援 > ・ 買い物支援をやっている。週に 1 回実施している。最初は広く移動支援という話もあったが、まずは買い物支援だけに限定して始めた。ボランティアでかつ素人なので、色々な移動支援をするのは大変だと考えている。ゆくゆくは様々な移動支援も考えなければならないことは重々承知している。 ・ 買い物支援をしている中で、病院も行きたいという方もいた。しかし、現時点ではお断りしている。
三根地区	< ボランティア輸送 > ・ 利用者は 8 名いる。地域が点々としている。2 台で送迎しているが、13:30 から体操をするため、それをめがけて逆算して輸送している。3 名まで乗せられるが、ピストン輸送（3 回することもある）のため、大変である。 ・ ドライバーは募集して増員したが、まだ足りていない状況である。 ・ 全員が健康であればいいが、調子が悪い場合もあり、ドライバーも多めにいた方がよい。 ・ 体操の 13:30 の開始時間を変えられないかと思っていた。もう少し時間に余裕をもつことで、ボランティア輸送の負担も減るのではないと思う。 ・ 買い物利用に限定しているが、銀行や郵便局にも寄ってほしいという声はある。しかし、ドライバーの負担が高まり、また何かあった時に保険の適用もできなくなるため、ドライバーには受けないでほしいと言っている。これが困っているところ。
北茂安地区	< 買い物支援 > ・ 買い物支援については、皿山と中東で実施中。区長と 2 人で 週 1 回ずつ。水曜日。利用者の方と電話をして時間調整をしながら 13 時～実施している。運転側が用事がある場合は時間や日にちをずらしてもらっている。前日に電話をして調整している。月に 1 回サロンを行っており、その際に近所の方を 3 名乗せて会場に向かっている。現段階では問題なく実施中である。今年の 3 月からスタートさせて実施している。ボランティアドライバーの希望者があまりいないのが問題。私自身は、そんなに負担を感じることなくやれている。利用者とドライバーの両方を引き続き募集している状況である。中原と三根はボランティアドライバーの人数が多いと聞いている。 ・ 75 歳でも仕事をしている方が多く、それがドライバーが集まらない原因かもしれない。・ 高齢者の方にとっての都合のいい時間は「その時今」である。午前中に病院に行くならついでに買い物に行くというのが普通の行動パターンである。 ・ 仮に車に乗れなくなった場合、地区ごとにバスがぐるぐる回っていて、旗や手を上げたらいつでも乗れるとありがたい。

④ その他

地区名	意見のまとめ
中原地区	<家族の送迎について> ・家族に送迎を頼みにくいと思ったことはある。 ・膝の手術を受け、夫に送迎してもらっている。バス停位置の変更があればありがたい。姫方遺跡近くのバス停があるが、坂がきつくて転びそうである。幼稚園バスの様に自宅近くまで来てもらえたら便利だと思った。 <移動販売について> ・（移動販売の利用について）公民館などに売りに来ているが、帰りの荷物が重くて使っていない。 ・公民館にいる時間が短い。来たことがすぐ分かるようにスピーカーの音を大きくしてほしいと言ったことがある。 ・集合住宅などでは利用があると聞いている。楽しみにしている人もいる。
三根地区	・近隣は運転できるが、豆津橋を超えるのは怖い、遠くへの運転は怖いという声を聞く。 ・免許返納の特典として、公共交通利用の割引が高いものがありもっと PR することも有効かもしれない。 ・自転車も移動手段としては重要。ヘルメットの着用が努力義務化されるが、健康にはいい。 ・いろいろな手段について、それぞれの条件の中でうまくすみ分けして使っていくことが重要かもしれない。
北茂安地区	<通学支援バス> ・通学支援バスが中原庁舎行と吉野ヶ里駅行の 2 系統運行している。高校生や大学生に利用されている。170 人登録。80 人/往復/日の利用がある。朝 3 便午後 5 便運行している。 ・小中学校の遠距離通学には使えないだろうか。豆津など学校まで遠い地域では通学、通園支援もあると良いのでは。学童保育も歩いて行っている。支援があるといいのではと思った。・千栗という一番便利な地域に住んでいる。97 歳でも免許を持っている方がいる。最近返納した方はバスで移動しているがバスで事足りているように見える。高齢者の交通事故が増えているので、高齢者の方はご自身の息子さんや娘さんが送迎をしているようである。

第6章 協議会議事録

➤ 令和4年度第2回みやき町地域公共交通確保維持改善協議会

令和4年度第2回みやき町地域公共交通確保維持改善協議会 議事要旨

日時：令和4年12月2日（金）午後14時00分～

場所：みやき町三根庁舎 2階 大会議室



I. 開会

会長より開会挨拶

II. みやき町地域公共交通計画策定の進捗状況について

日本工営：資料について説明

吉野委員：コミュニティバスの利用者層はどのようになっているか。

通学支援バスの利用者が増加しているのは学生の人数が増加したのか、通学支援バスの認知度が向上し利用者が増加したのか、どちらであるのか。

財政負担の増加について、事業者としても予算が少ない中で如何に顧客に満足してもらうか考えている。公共交通なのでターゲットを普段利用している方に絞るのは分かるが、公共交通を利用しない人に何故公共交通に補助するのか理解してもらえるようにする必要がある。自治体、事業者、住民の三位一体で事

業は進めるべきである。自治体の財政が苦しい場合は PFI の活用が有効だと考える。クロスセクターの取組みを進めることは公共交通を使わない方へ公共交通について理解いただくのに効果的であり、全面に打ち出すことも重要。素案について事業内容が固まる前に、このような事業はどうだろうと投げかけていただければ交通事業者としての意見も反映できて、実現性の高い計画になると考える。

事務局：コミュニティバスの年齢層についてはアンケート調査で把握しているので改めて回答する。（高齢者層が多い）

通学支援バスの利用者増加要因について、学生数の増減は分からないが、周知方法として中学 3 年生の生徒一人ひとりに通学支援バスの申請書を配布して PR を図っている。バス停やルートの改善も随時実施しているが、特に利用増に寄与しているのは、吉野ヶ里線の新設である。令和 2 年では利用者 300 名程度であったが、バス停を増やし、ルートを改善することで令和 3 年には利用者は 1350 人程度に増加している。

財政負担について、西鉄への補助は西鉄沿線の自治体で費用を分担しているがこれを高いとみるか安いとみるかは様々であると思う。コミュニティバスについては運行事業者の変更により抑えた金額で運行いただいているが、今後の見直しの中で、まだ具体案は提示できないが今の予算の範囲内での検討についても考えていきたい。

津留委員：素案のイメージはどのようなものか。定める事業については、主体と実施内容について、事業者とも事前に調整しておく必要がある。

事務局：承知した。しっかり対応して進めていきたい。

岡 会長：今策定中の町の総合計画では総力戦で考えており、みやき町を発展させていくにはエリア別の考え方で進めていく必要があると考えている。現代では発展＝都市化ではないということを現実として受け止め、農地エリアや自然環境の多いエリアなど、エリアごとの発展の仕方を検討することが必要である。そして、どのエリアに住んでも不便でないということが前提条件となる。移動についても、来てもらうだけでなく、今実証実験をしている移動販売のようにこちらから出向いていくという施策も考えうる。公共交通についても、どのエリアでも不便がないように検討していくことが求められると考えている。

Ⅲ. その他

坂井委員代理：佐賀県では来年 1 月から 2 月にバスの無料デー実施を予定している。

水曜日はマイカー通勤から公共交通への転換、日曜日は家族で公共交通を利用して出かけていただくことが狙いである。県内、県外から県内のバス停で降車する場合は無料であるが、県外へ出るときは通常運賃であるので注意いただき

たい。市町が運行しているコミュニティバス、デマンド交通も無料にする予定であり、みやき町もご協力いただける予定である。

岡 会長：画期的な施策であり、これをきっかけにバスに興味を持っていただき、知っていただくことが大事であると思う。乗車体験のいい機会にもなると思う。

吉野委員：本町の事務局は前向き、未来志向であると思う。本計画に期待しており、年をとっても安心して暮らせるまちになるのではと思う。

IV. 閉会

会長より閉会のことば

➤ 令和4年度第3回みやき町地域公共交通確保維持改善協議会

令和4年度第3回みやき町地域公共交通確保維持改善協議会 議事要旨

日時：令和5年1月20日（金）14時00分～

場所：みやき町三根庁舎 2階 大会議室



I. 開会

会長より開会挨拶

確保維持改善事業の評価や計画策定の報告について慎重なる審議をお願いしたい。

II. 議案1：地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

事務局：資料について説明

坂井委員（宮崎代理）：北茂安線が過去最高の利用者数ということで増加しているが、要因が分かれば教えてほしい。

事務局：これまでは利用者数がほぼ変わらず一定であったが、北茂安線のみ本年度増加した。毎月のデータをみると、新型コロナウイルス感染症の波の合間では増加しているようである。具体的な理由は今後調査したい。

会長：議案1について承認ということでよろしいか。

一 同：異議なし。

Ⅲ. 報告事項 1：みやき町地域公共交通計画策定の報告

事務局：資料について説明

中島委員：P93～達成状況の評価について、令和2年度と変化がない令和9年度の目標値の設定となっているが、PDCAを踏まえて同じ数値である意味はどうか。

事務局：考え方として、現状維持を考えている。人口減少の中で、公共交通の利用者数は減少傾向であるが、それを各種施策の実施で維持するということで設定している。

会長：意欲的な目標値を立てた方がよいのでは、ということで理解した。他の委員はいかがか。

大曲委員：通学支援バスについて有償化の可能性はあるのか。

事務局：現段階では有償化は難しい。運輸支局とも協議を行ったが、自ナンバー運行であるため、有償化すると道路運送法に準拠した対応が必要になるなど難しい状況である。今後、受益者負担の考え方や路線の再編などを検討したいとは考えている。

会長：通学支援バスのあり方については今後、検討しなければならないという意識は持っている。他にあるか。

最所委員：P88の中で、公共交通ネットワークの見直しという項目があるが、交通弱者の対応ということで他自治体ではデマンド運行の試行を行っている聞いた。みやき町でもデマンドの試行の予定はあるのか。

事務局：計画期間5年の中において、住民や関係者からもデマンドの運行についてご意見・ご要望を受けており、検討することを考えている。ただ、例えば来年度早々の実施は難しいが、利便性の向上も期待できるので検討していきたい。

会長：タクシー助成事業は試行段階であり、メリットデメリットあると思うが、今のところタクシー会社のご協力で、行政が運行資源を持たずして実施できているという意味ではメリットがあると感じている。今後、デマンド運行も含めて検討を進めたい。

津留委員：デマンド化については、本格運行開始前に、実証運行する例が多い。運行曜日や時間帯、エリアの設定、乗降場所の設定などやり方が様々、オペレーションのやり方も様々であり、事業者と共に事前調整をしっかりと行ってもらいたい。P93の数値目標について、P94のPDCAサイクルで評価すると記載されていると思われるが、P90の実施事業がどの程度取り組みがされているか、1つ1つの事業の評価も含めて検討していただきたいと思う。

会長：デマンド化については試行からのスタートを検討していきたい。評価については、目標の達成度を測るための数値目標だと考えている。

事務局：本日のご意見を踏まえて修正等行っていきたい。一般の方向けにもパブリックコメントも実施予定である。

吉野委員：一つお願いがある。交通安全が重要だと思っていて、小さいお子さんの頃から意識を持ってもらうために、中原小学校の児童に交通安全のポスターを作成してもらい、弊社営業所に掲示している状況である。ただ、枚数が全部で82枚集まり、営業所では掲示しきれない状況で、児童の保護者からはそのポスターが自由に見られる場所に掲示してほしいというご意見があった。どこか適切な場所などは無いか。

会 長：中原校区内では、風の館や庁舎のホールなどが考えられるかもしれない。担当課を窓口にして検討する。

IV. 閉会

会長より閉会のことば

➤ 令和 4 年度第 4 回みやき町地域公共交通確保維持改善協議会

令和 4 年度第 4 回みやき町地域公共交通確保維持改善協議会 議事要旨

日時：令和 5 年 2 月 22 日（水）15 時 00 分～

場所：みやき町三根庁舎 2 階 大会議室



I. 開会

II. 会長挨拶

ご多忙の中、第 35 回確保維持改善協議会へのご出席に感謝する。本日は計画策定の報告について慎重なる審議をお願いしたい。

III. 報告事項 1：地域公共交通計画策定調査業務について

事務局：資料について説明

中島委員：P72 について、取組時期で前期中期後期とあるが、具体的にどういう時期となるか。PDCA サイクルはどういう期間で回していくのか。P77 の PDCA サイクルの図は字が小さくて見えない。評価は、本会議で行うのか。

事務局：5 年計画であり、5 年間について、1、2 年目を前期、3 年目を中期、4、5 年目が後期というイメージである。毎年 PDCA サイクルを回すことになる。本会議で毎年チェックする形となる。

会長：これから PDCA の D に進むことになる。1 年後に C、そしてそれをどう改善するかという A に進むことになると考えている。

大曲委員：P74 にバスの乗り方教室の記載があるが、現状のコミュニティバスのダイヤで

は小中学生は使えない。また、通勤や買い物は久留米に行く人が多く、コミュニティバスでは行けない。北茂安では交通不便地域もあり、そもそもバスに乗れない人もいる。利用促進の前にそもそも公共交通が使える状態になっていないのではないかと考える。

事務局：実際には利用できない子どももいると思うが、教育的な意味でも必要な経験になると考えている。

大曲委員：乗り方教室はどこでやるのか。

事務局：小学校の授業の中で実施する例はある。

大曲委員：それなら実現性はあるかもしれないが、いずれにせよ現実的なことを書いてほしい。夢の話というか理想的なことでは実現できない。コミュニティバスについて、住民が納得できるようなダイヤ改正を行ってほしい。西鉄バスについても同様である。空気バスなどと言われ、廃止の話なども出てくることもあるが、そのようなことを踏まえて現実的な施策を書いてほしい。公共交通が使えないため、自動車に乗っているのが現状である。あるいは校区ごとに一般の人が移動支援を行っているのが現状である。コミュニティバスの中央線は中原駅までと書いてあるが、通学以外には中原駅は使わないのではないかと。新鳥栖駅に駐車して新幹線通勤している方もいる。ぜひそういった現状を把握して、困った意見を抽出して対応を考えてもらいたい。タクシー会社のタクシー助成事業については非常に助かっているという声を聞く。

中島委員：タクシー助成やコミュニティバスなど町の事業について、事業者としてのご意見はあるか。

多々良委員：自治体からの補助を受け運行しているので、基本的には町の方針に沿った運行をしっかりと行うことだと思っている。今後の運行形態については、デマンド運行が会社としてはありがたい。

事務局：コミュニティバスをはじめ様々な交通モードをいかに利用いただくかを考えることが一番重要だと思っている。それを計画に盛り込みたい。空気バスと言われているので、時刻表を改善する等も考えたいとは思っている。デマンドが利便性が高いのも理解しているが、経費がさらにかかる可能性もあるため、財政も見ながら最適化を考えたい。

会長：みやき町は恵まれている方だと思っている。バスもタクシーも駅もある。高齢者の方にとって、免許返納後も利便性を確保するためには、地域の資源を有効活用することが重要だと思う。選択肢を最大限どう活用するか、最大化の努力をしていくことが大事だと理解している。コミュニティバスの話については、不便ではないように増便するのか、増便できるのであれば財源は持つのか、など様々に検討するものだと思う。佐賀県内各地ではAI オンデマンドの導入など最新技術を活用した例もあるため、そのようなものの検討も考えられる。電動キックボードを

利用できるようにした道交法改正など、変化する世の中に合わせて考えていくことも必要だと思っている。コミュニティバスのダイヤ改正はしっかりと最適化していきたい。一方で他の資源もうまく活用していきたい。佐賀県が水曜と日曜にバス等を無料にしているが、バスに乗らない状態からまずは乗ってみてもらい、意外と便利だと思ってもらう施策だと理解している。同じような狙いでみやき町の施策も考えている。ご理解をお願いしたい。

津留委員：地域公共交通計画は、法定計画である。計画に基づいて事業を進めていくものである。前期中期後期の年度はしっかり記載願いたい。実施事業については、現実味が欠けていると思っている。P75についても機運づくりとあるが、具体的に何をするのかが分からない。佐賀県の事例は公共交通だけのイメージの話ではなく、背景や目的がちゃんとある。単にイメージだけを記載するのではなく、具体的な取組を考えてもらいたい。計画には書かない、あるいは書けないとしても、担当が変わっても大丈夫のように、具体的に何をするのかは詰めておいてもらいたい。公共交通ネットワークの見直しでコミュニティバスの部分については、公共交通の維持確保が主であり、国の補助金を活用して維持活用しつつ見直しをするという書き方にしてもらいたい。

会 長：報告事項1について議論を終わりたい。

事務局：事務局でしっかり検討して修正案をお示しし、パブコメをかけるようにしたい。
なお、軽微な変更などは事務局に一任ということをお願いしたい。

IV. 閉会

会長より閉会のことば

第7章 打合せ議事録

➤ 第1回

打合せ・協議記録簿									
第1回					追 番		1 頁		
発注者 承認印	調査職員	調査職員	調査職員	調査職員	受注者 検 印	管理技術者	担当技術者		
発注者名	みやき町まちづくり課					受注者名	日本工営株式会社		
件 名	みやき町地域公共交通計画策定調査業務					整理番号	DH22L0041		
出席者	発注者側	まちづくり課 平野様				日 時	令和4年8月19日(金) 10:00~11:00		
						場 所	Web (ZOOM)		
	受注者側	内村、高峯				打合方式	会 議 電 話		
1. 議題 (1) アンケート調査票について (2) その他 2. 提出資料 住民アンケート調査票、高校生アンケート調査票									
3. 打合せ事項 ■発注者： (1) アンケート調査票について [住民アンケート] ・P1 みやき町「役場」をつける ・P2 質問1 町名→校区名の修正 ・質問6 待ち時間前の仕掛けについて理解した ・P6 質問10 質問内容が分かりにくい ・P7 質問12 通学支援バスについて、ぎりぎりの運行状況になっているため、実現性が難しい部分があるため保留している(削除の可能性ある) ・通学支援バスは高校生がターゲットであり、ターゲットが異なるのではないか ・P8 質問14 面白いアイディアである。バスのアイディアは面白いと思った。このようなアンケートの実施した具体例はあるか。 ・改めて町民アンケートについて決裁を取る。 ・メを9月16日としているが、発送スケジュールとの関係だと思いがいがか。 ・後納関係の手続きは町内部で実施する予定。 ・アンケートの郵送費については、受注者において負担すること ■受注者： ● 承知した。 ● 承知した。 →福祉的施策との連携が考えられると想定 一言葉として「または」追加、「送迎されていますか」「どなたから送迎されていますか」など追記して分かりやすくする →最終的にはカット →親へ尋ねる意図である。送迎からの移行を見たかった。 →はじめてである。 →修正版を至急送付する。 →後納手続き等がスムーズに進めば、29日発送を想定している。(NK) ※現状(9/8)後納手続きに時間がかかり、遅れている ● 承知した。 ● 承知した。									

3. 打合せ事項 ■発注者： (1) アンケート調査票について 〔高校生アンケート〕 ・高校を追加してほしい ・住所は「校区」で統一 ・内容はOK ・宛先は本人宛 説明文に保護者にも見てもらうように入れる (2) その他 ・承知した ・住民アンケートの結果が出てから行きたいところではあるが、時間的に厳しい ・送付する ・タクシー助成は事業実施中（5月9日～）で受け付け次第1週間以内に配布している ・助成状況を参考で送付する ・契約書決裁完了 以上	● 承知した。 ● 承知した。 ● 承知した。 ・町の封筒（住民アンケート発送用）は来週可能な限り早めに送付をお願いしたい（NK） ・懇談会のイメージを送付するので、先方と調整してもらいたい ・昨年度実施の高齢者アンケート結果を持っていくのもあり ・コミバス 1日ごとのデータはあるか ● 承知した。 以上
---	--

➤ 第2回

打合せ・協議記録簿

第2回					追番		1頁	
発注者 承認印	調査職員	調査職員	調査職員	調査職員	受注者 検印	管理技術者	担当技術者	
発注者名	みやき町まちづくり課					受注者名	日本工営株式会社	
件名	みやき町地域公共交通計画策定調査業務					整理番号	DH22L0041	
出席者	発注者側	まちづくり課 大坪主幹、平野主査				日時	令和4年11月16日(水) 9:00~10:30	
	受注者側	内村、高峯				場所	みやき町役場三根庁舎 3F 会議室	
打合方式								
1. 議題 (1) 協議会資料について (2) スケジュール確認 2. 提出資料 現状と課題 (A4 縦)、現状課題・方針・目標 (A3 横)								
3. 打合せ事項 ■発注者： (1) 協議会資料について ・P22 「無回答」が多いことが気になった。 →利用可能である。 ・タクシー助成の利用者アンケートがあり、提供可能である。「ひまわりタクシー」が事業名称。 ・公共交通全般の財政負担について、西鉄バスの赤字負担やコミュニティバスの費用が増加傾向である。 ・現状や課題の報告が今回協議会の最も重要な部分である。会長が町長であり、施策的な部分は、今回は具体的には言えない可能性もある。バランスが難しい。 ・基本的な方針について、第三次総合計画と絡めているとあったが、役割や方針の部分までを今回協議会の議題と考えたい。 ・デマンドより福祉施策的なタクシー助成の方がいいのではという判断で現在はタクシー助成を実施している状況である。 ・協議会委員では、デマンドに対して良い印象を持つ方が多いと想定している。デマンドに傾く可能性もある。 ・中原において地域主体の運行をNPO法人が行っていたが、費用負担などの問題で現在は行っていない。 ・利用促進については、食や交流などとの組み合わせはイメージがつかない。再編や連携についてはイメージがつく。 ■受注者： →一本設問の無回答数である。全数とn値を合わせるために無回答数を入れているもの。 ・通学支援バスはみやき高校への通学でも利用できるのか。 →提供をお願いしたい。 →財政負担のデータの提供を依頼。 (西鉄への補助はR4~4路線に拡大) (12月頭に実績データの提供がある予定) →施策については実現性の担保が重要である。事業者への確認等を並行して作業をする必要がある。 →目標の部分タイトルだけにするとか、もう少し抽象的に記載するなどの方法もある →町長との協議を踏まえ、最終調整 →デマンドとタクシー助成のコスト的な比較などのシミュレーションも検討 →今のコミバスはデマンドにして利便性を上げ、その補完としてタクシー助成というような将来イメージになるのではないかと。 →平成27年に、コミュニティバスを活用した買い物ツアーの実績がある。コミュニティバスの活用について、様々な切り口が考えられないかというイメージを持っていた。								

(2) スケジュール確認 ・第2層協議体については調整中。(最大20人程度参加か?) (打合せ後、事前打合せの打診あり) ・11/21～の週に町長レク。～11/25 くらいまでに資料完成のメド。1週間前くらいに資料を委員に事前送付予定。 ・資料全体としては特に大きな問題はないと考える。 ・通学支援バスについては、吉野ヶ里線の利用が少ないので、来年度見直しの可能性あり。 ・JRは来年3月でダイヤ改正が見込まれる。 ・みやき町としては、来年度も今年度の事業を継続していく予定。	→NKは、11/29 三根、12/2 北茂安はNG 12/14 中原だけOK 1枚ペーパー(当日の流れ)を作成して送付する。 ※移動に関するお困りごとを聞く(要望合戦にならないように) →承知した。 資料リストと今年度全体の流れの資料を追加予定。
--	---

➤ 第3回

打合せ・協議記録簿

第3回					追 番		1 頁	
発注者 承認印	調査職員	調査職員	調査職員	調査職員	受注者 検 印	管理技術者	担当技術者	
発注者名	みやき町まちづくり課					受注者名	日本工営株式会社	
件 名	みやき町地域公共交通計画策定調査業務					整理番号	DH22L0041	
出席者	発注者側	まちづくり課 大坪主幹、平野主査				日 時	令和4年12月9日(金) 14:45～15:30	
						場 所	みやき町役場三根庁舎 3F 会議室	
	受注者側	内村、高峯				打合方式	会 議 電 話	
1. 議題 (1) 実施事業について 2. 提出資料 実施事業（たたき台）								
3. 打合せ事項 ■発注者： (1) 実施事業について ・将来像については理想形であり、同意する。 ・運行台数は経費面から増車は難しい。 ・キャッチフレーズについてはアイディアとして良いと思う。機運を高めたい。 ・「誕生月は無料」など、乗ってもらうことが重要であると考え。 ・バスの乗り方教室については、小中学生に出前講座として大きな予算なく実施可能である。 ・コミュニティバスの見直しは必須である。 ・体験試乗会については、声をかけたのか。 ・子供ターゲットも必要であると考え。楽しい利用促進についても考えたい。 →総合計画策定時にワークショップをした程度である。小中学校との連携がより強い。 ・実施にあたっては、交通事業者との打合せは必要か。こちらの内容で弾だしてきたと考えている。 ・高齢者については、何等かのイベントと連携して、移動手段にコミュニティバスを利用してもらうなど、「コミュニティバス」を活用することが出来ないか。 (2) スケジュール ・年内には素案が出来ている状態が望ましい。 ・事業者とコミュニティバスについて話をする場合、より具体的な再編案を持っていきたい。 ・タクシー支援事業は好調であるため継続方針であるが、デマンドとタクシー支援は目的別（町外と町内）などに整理するなど、示したい。					■受注者： →参加を募った。 ・みやき高校との連携は無いか。 →必要である。 →12月20日に事業者確認が出来たらと考えている。（鳥栖構内、吉野ヶ里観光） ・段階的な再編案を示したい。タクシー支援事業との役割分担なども記載したい。 ・幹線についても実施事業に記載する。			

➤ 第4回

打合せ・協議記録簿

第4回					追 番		1 頁	
発注者 承認印	調査職員	調査職員	調査職員	調査職員	受注者 検 印	管理技術者	担当技術者	
発注者名	みやき町まちづくり課					受注者名	日本工営株式会社	
件 名	みやき町地域公共交通計画策定調査業務					整理番号	DH22L0041	
出席者	発注者側	まちづくり課 平野主査				日 時	令和5年3月6日(月) 14:00~14:15	
						場 所		
	受注者側	高峯				打合方式	会 議 電 話	
1. 議題 (1) 計画案について 2. 提出資料								
3. 打合せ事項 ■発注者： (1) 計画案について ・パブコメを3/8~3/17で実施する。 ・パブコメ用の計画案を送付すること。 ・パブコメを受けて、最終の計画を調整すること。 ・工期は3/17であるが、納品は3/20~でも構わない。 ・工期の変更契約はしない。 以上					■受注者： →承知した。 →承知した。 →承知した。 →承知した。 →承知した。 以上			